



花子けつれ古田、教く
けつれ出で 船のこまききぬ
社外 宿
松尾屋
宝屋

灌佛の儀 丁まゝや きたる

元長湖あたに 松よ

名月也 陸竹まきまき... 雲を 破る

多岐山 既... 重

花子けつれ
松尾屋

奥羽のあは美人の... 松尾屋
奥羽のあは美人の... 松尾屋
奥羽のあは美人の... 松尾屋

文覺賢

京

嘯山

はまぬと

家も知るや

さくら



辻

天の

空を

地核

あまの

一雲の

嶺

春要齋

乙始

香々堂

陸船の圖

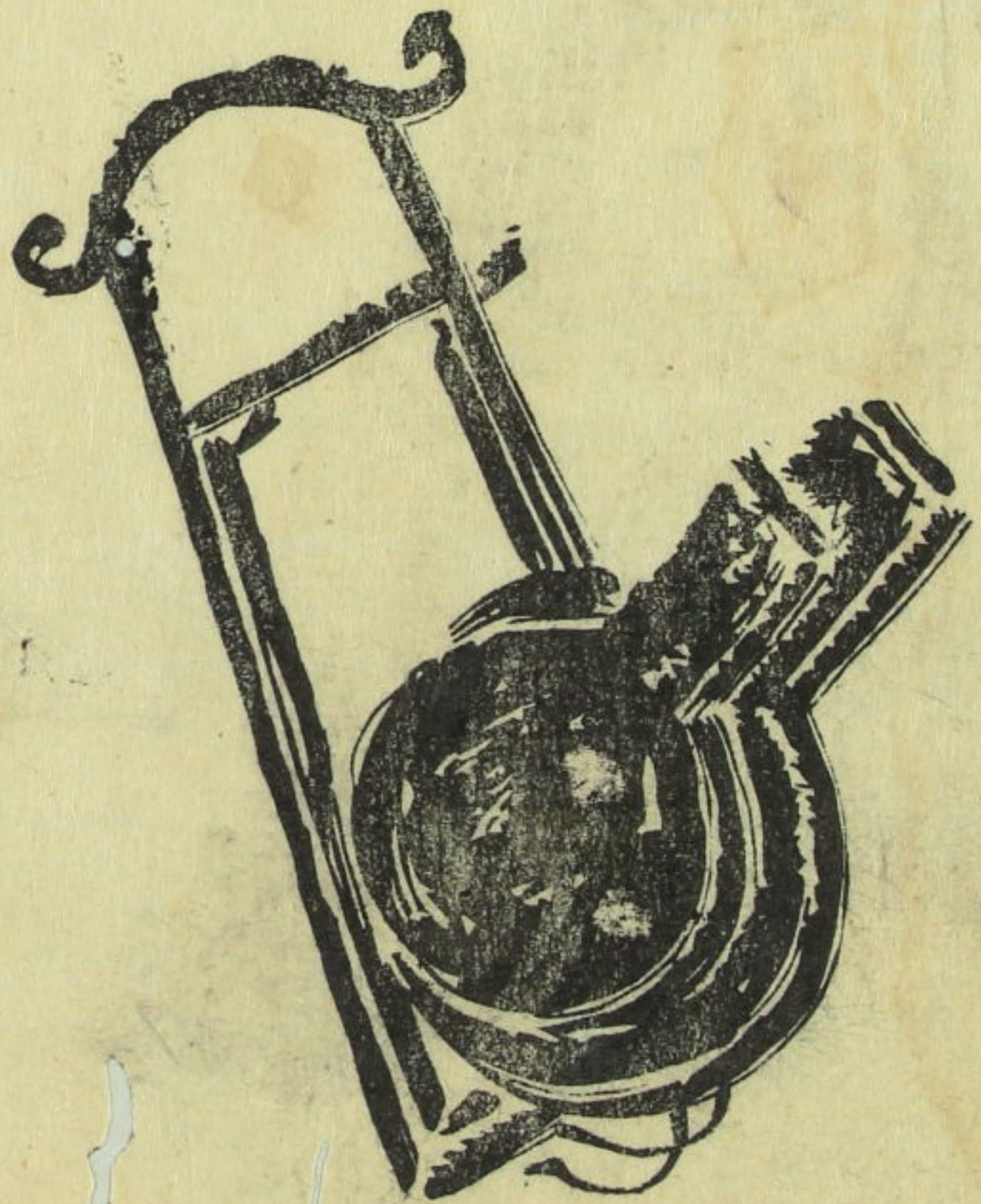
阿玉の

夏衣

給り

きん

けい



四二

かゝる

らん

風名

浦

くまは

一十

ヶ

品







東
如
鳥

み
の
草
名

東
津
時
雨

士
亮
總
自
西

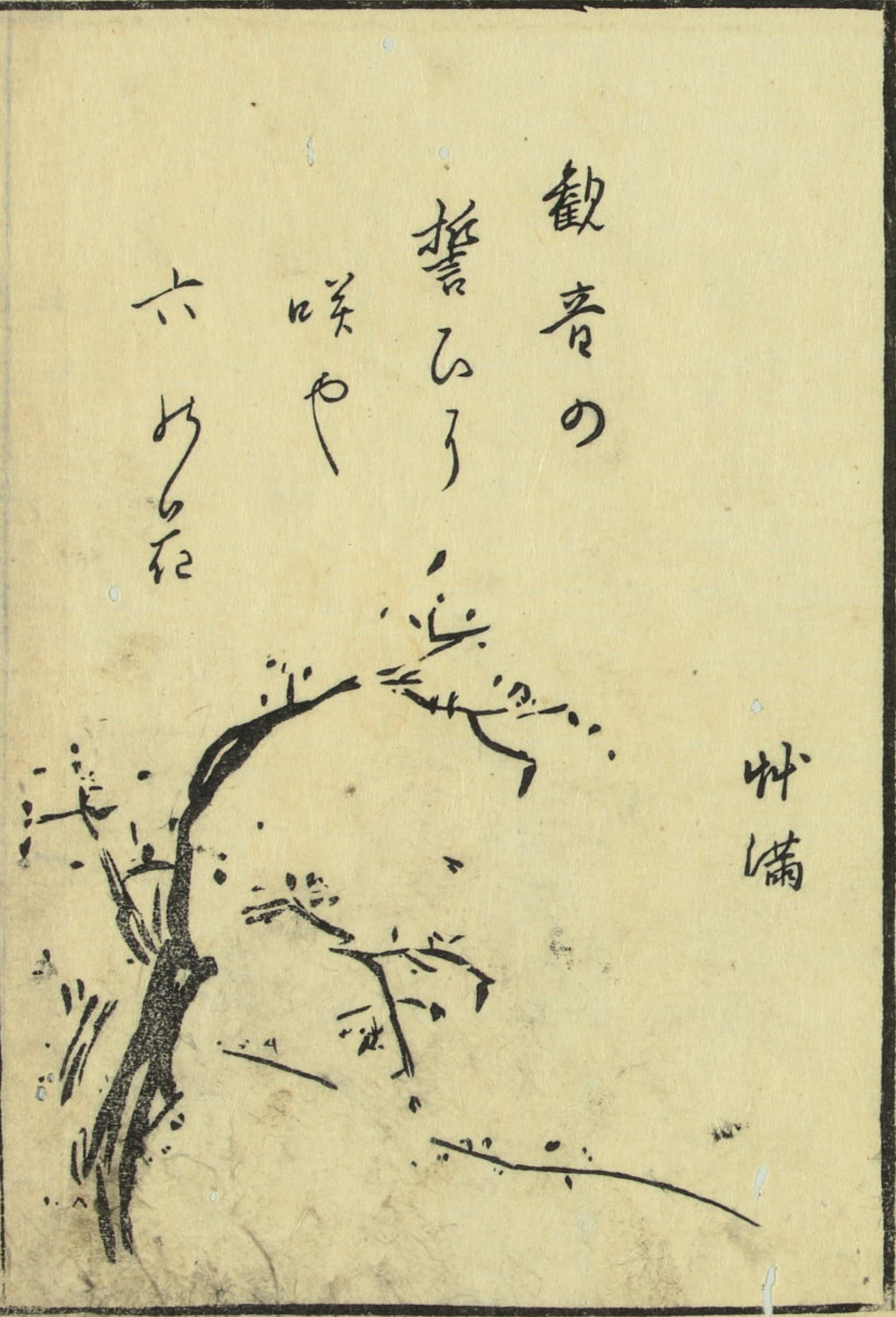


三ノ七

夕
の
月
も
白
も
梅
の
霜



輕
霜



観音の

誓ひ

咲や

六ねに

竹満



魁

元

ち

ち

室の

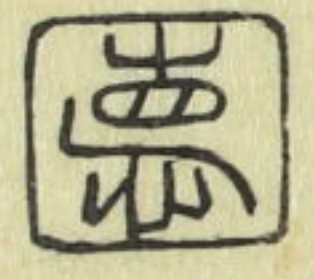
深久

印

三八



風也 素流
言修
寒山寺



吉田女郎
歸
之
山

蟻行



三ノ九

紫帯

結ひ免ハ

其身の

若如

都

可如

中津屋布

柳子



三十一

浮田

まかり

播州実栗

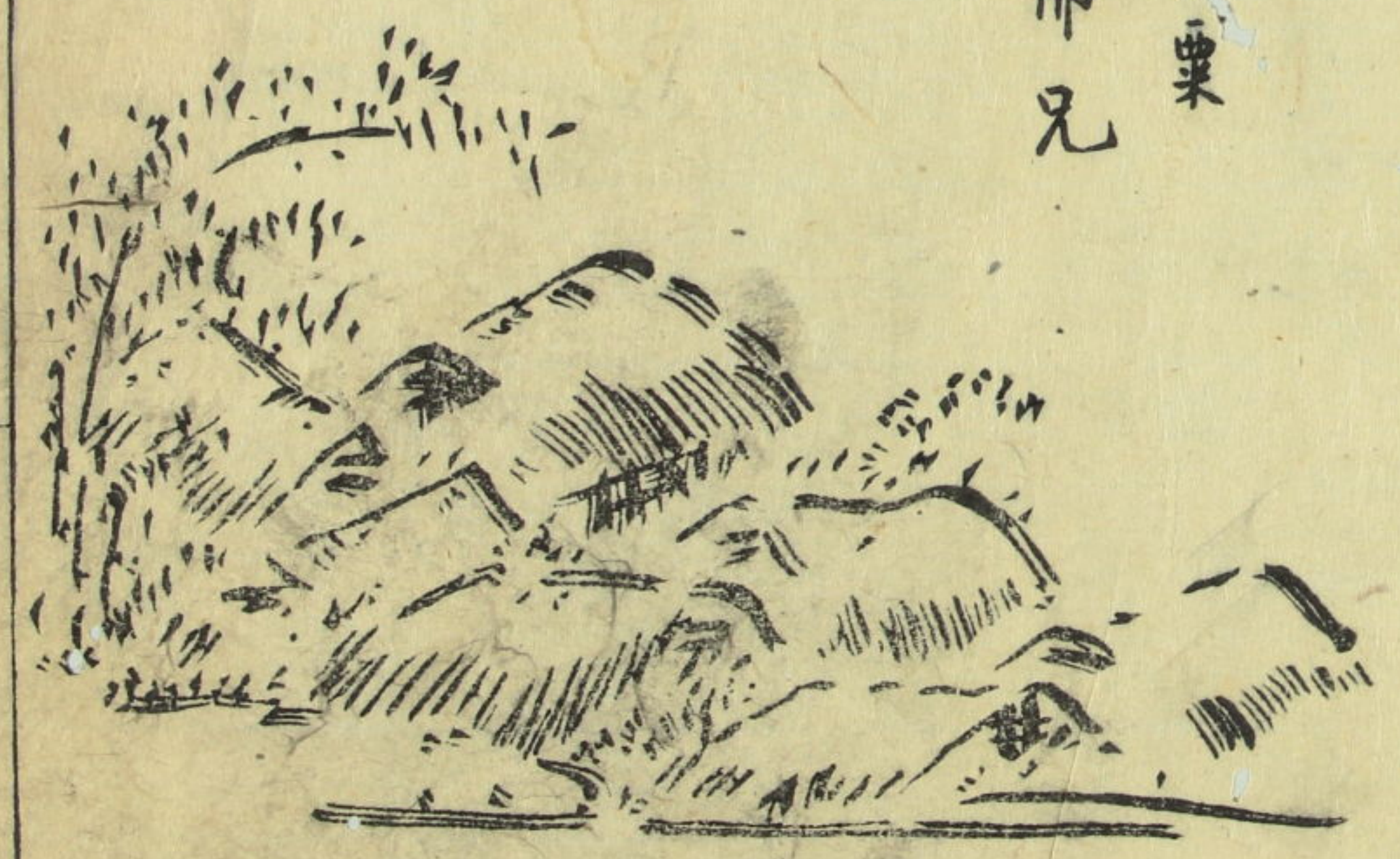
佛兄

リ原

かー

如ー

藤





画
器
白
ろ
ふ
い
む
ろ

ほ
ろ
ん
が
ろ

さら

何
ふ
と

せ
を
あ
り

土
肥
庫
山



雲
れ
山
峯

ま

見
え

種
の

松
う
ね

近
き
藤
原
清

子月
 るを
 楊の
 去ハ
 柳
 の
 歌

伊予新谷家士
 十八九



荒川
 汝洞
 執田の宮
 船中
 遙洋
 海
 移り
 子
 の

土屋
 鳳
 花



二ノ十二



風鈴のいそがし
 日石推乃雨

伊豫大洲家士

左の海峯

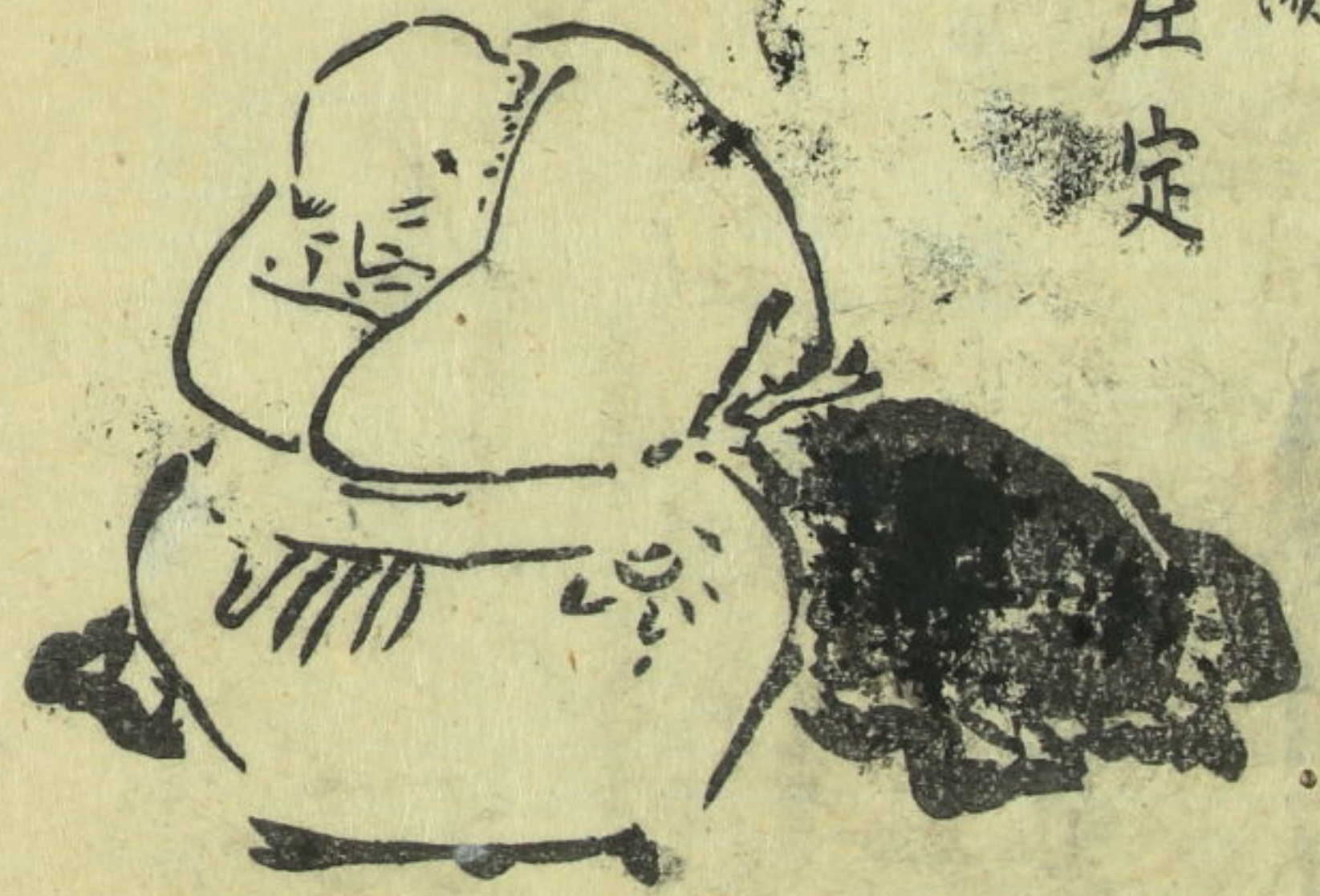
釣笑

寒海
 音の
 吹ぬる
 雨相弦

夜
 哉

同長液

左定



豊年にも狐の身

秋のこし目

小倉屋布

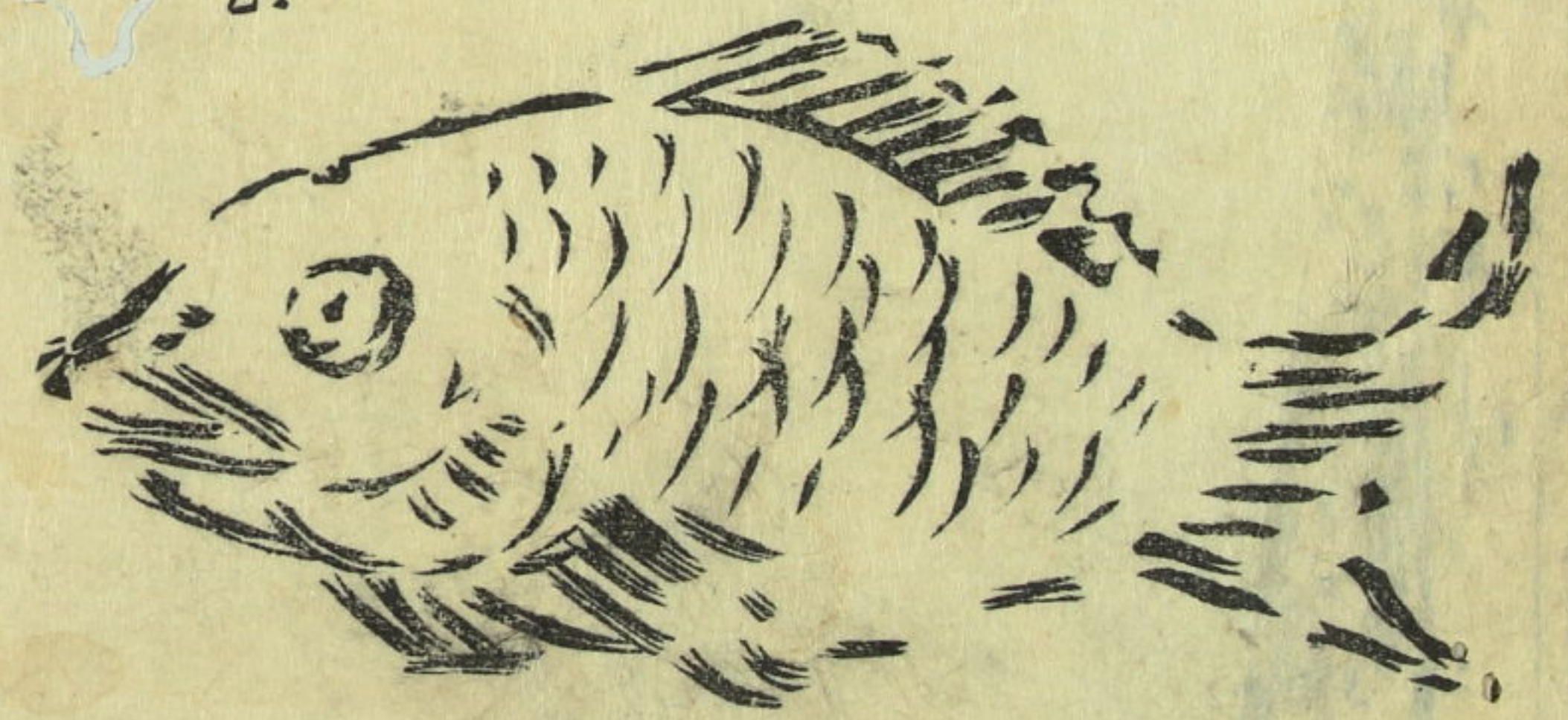
芥子生

世人皆

しき

よめゑい素

月のしき



三ノ十

つねきいね

悪くね

人と

立別き

福系

梅史



く

く

海鹽もろ

いく歩明こた

あ
心

鹿柴館
名積



福原

洪月

えよー桂や

系り

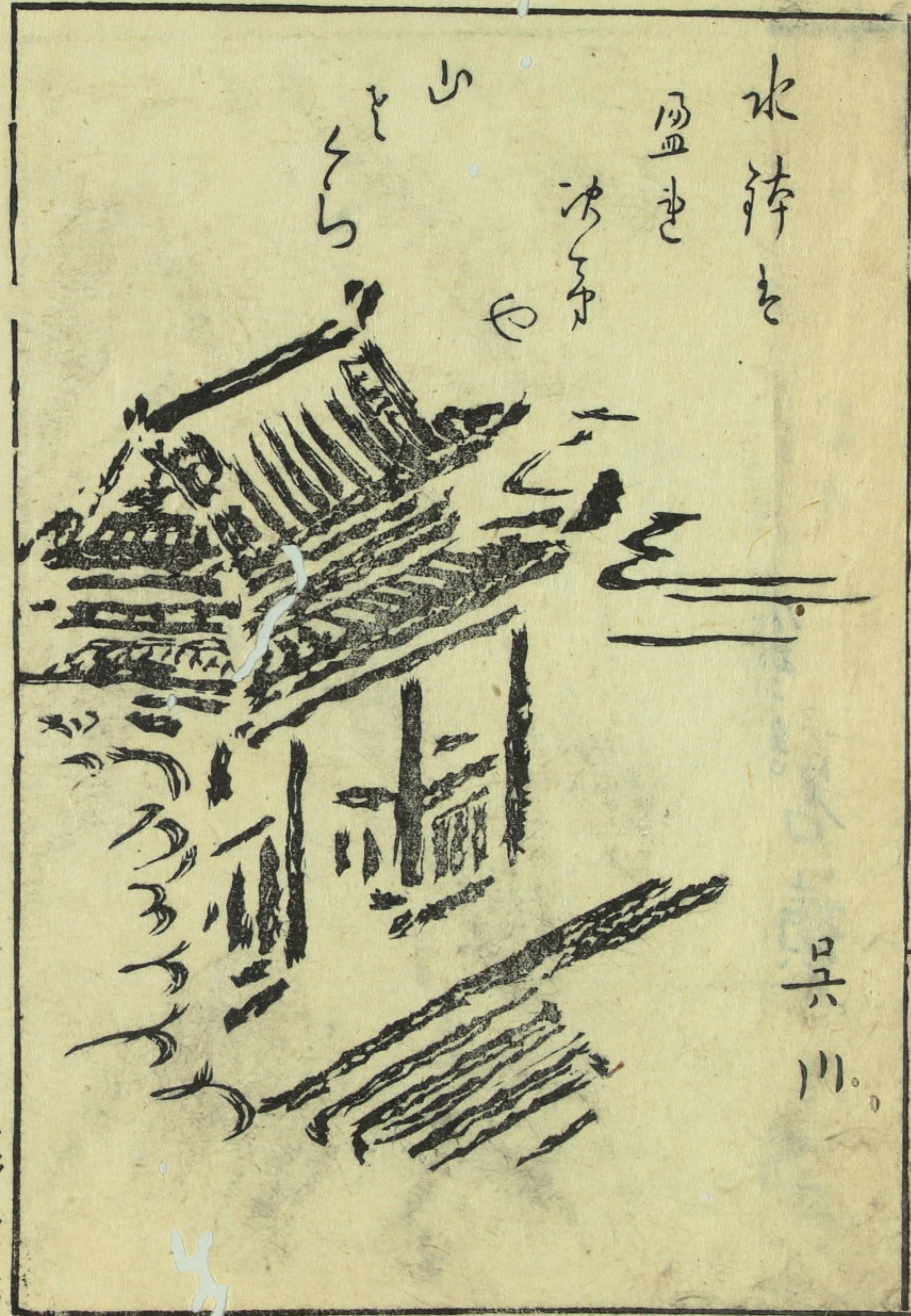
取っく

る土の山





道に家をたけうに雪の
 香ひう家
 淇大



水待と
 魚巻

決り
 ち

山
 と
 くら

呉川

君里

題并相場

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ



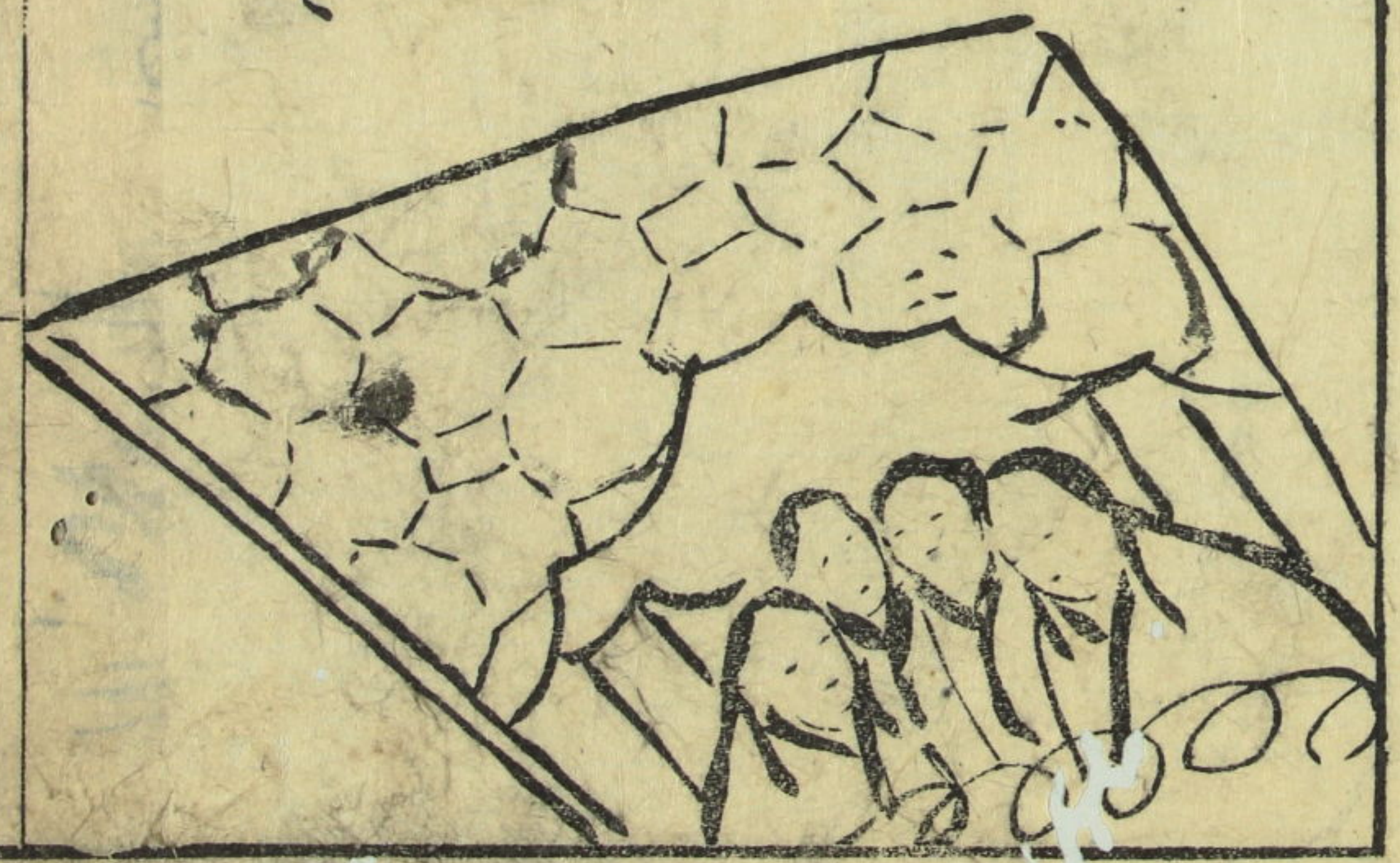
三十七

羽子板や

ふ形り好

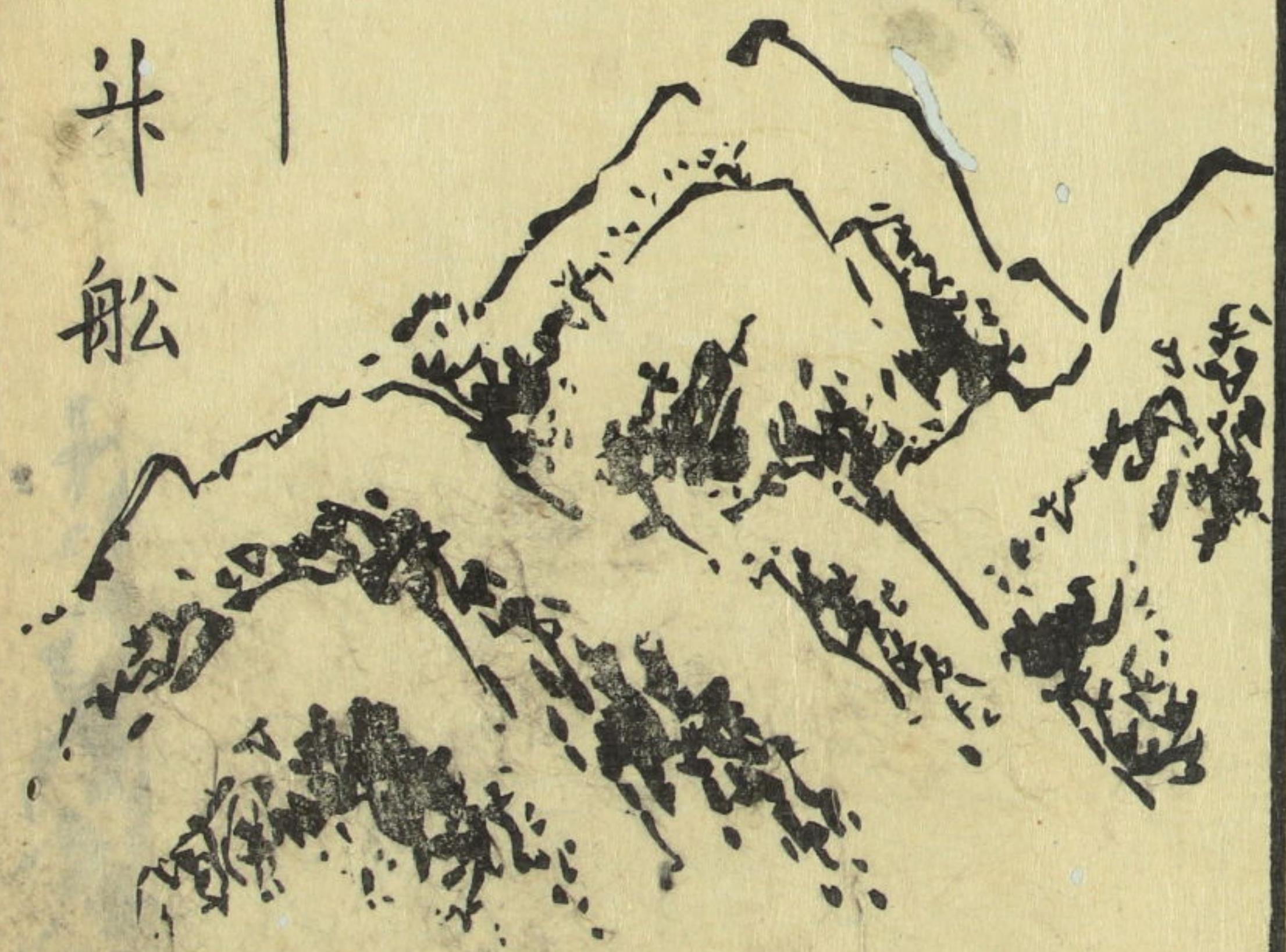
顔と皆厭

其答



雪 景
東 山
文 山
世 山
山 山

斗 船



北 鳥 卷 也

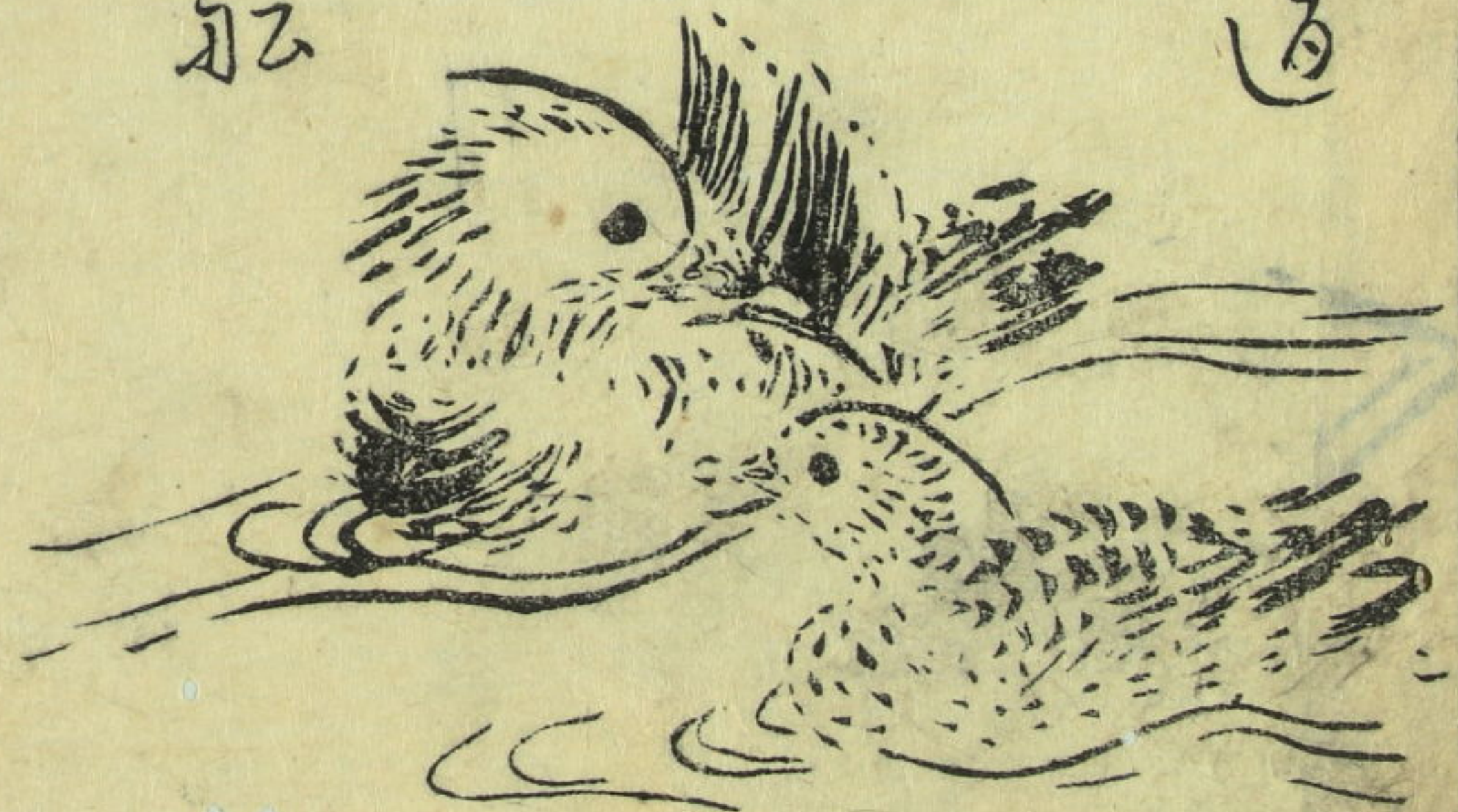
鏡 農

卷 子

帆 掛

船

樓 道

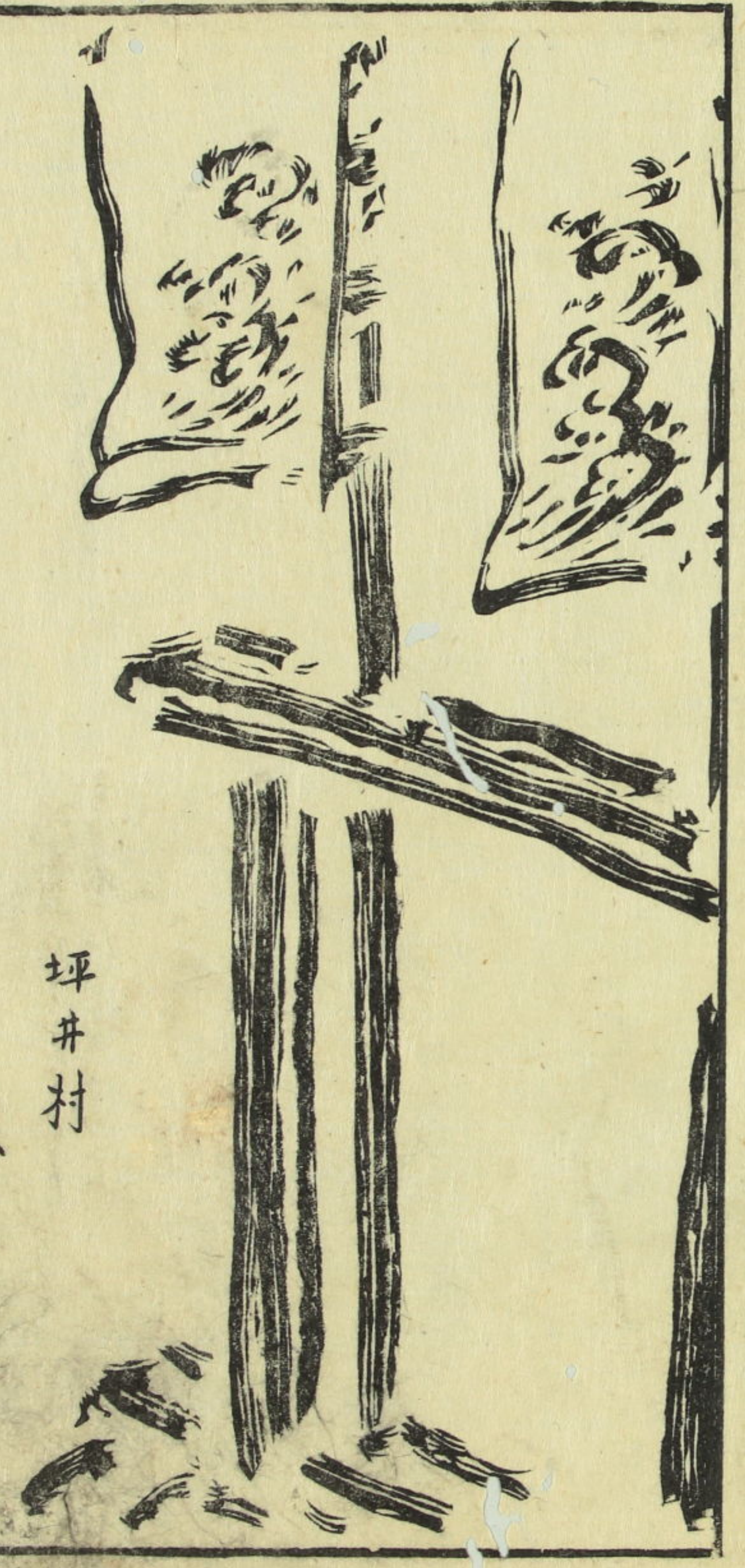


片衣一夜 伍了 空探の

探り系

坪井村

味舌店



引 籠 耳

踏 之

尚 幸

宮 可 南

鯉 丁 自 画



濁る世の

人ふもはまき蓮花

三宅村

玉泉



味舌坪井村

錦水

錦水

梅の

白ひ

うら

うら



三ノ十



所忍大舟

音竹

神の味や

乙の舟
あふ

藤の子

さくら木村

歌城



海を咲

吉植の

籠や

とくり

鯛

江戶



優男

能名

可山

杜美

江戸

柳風



江戶

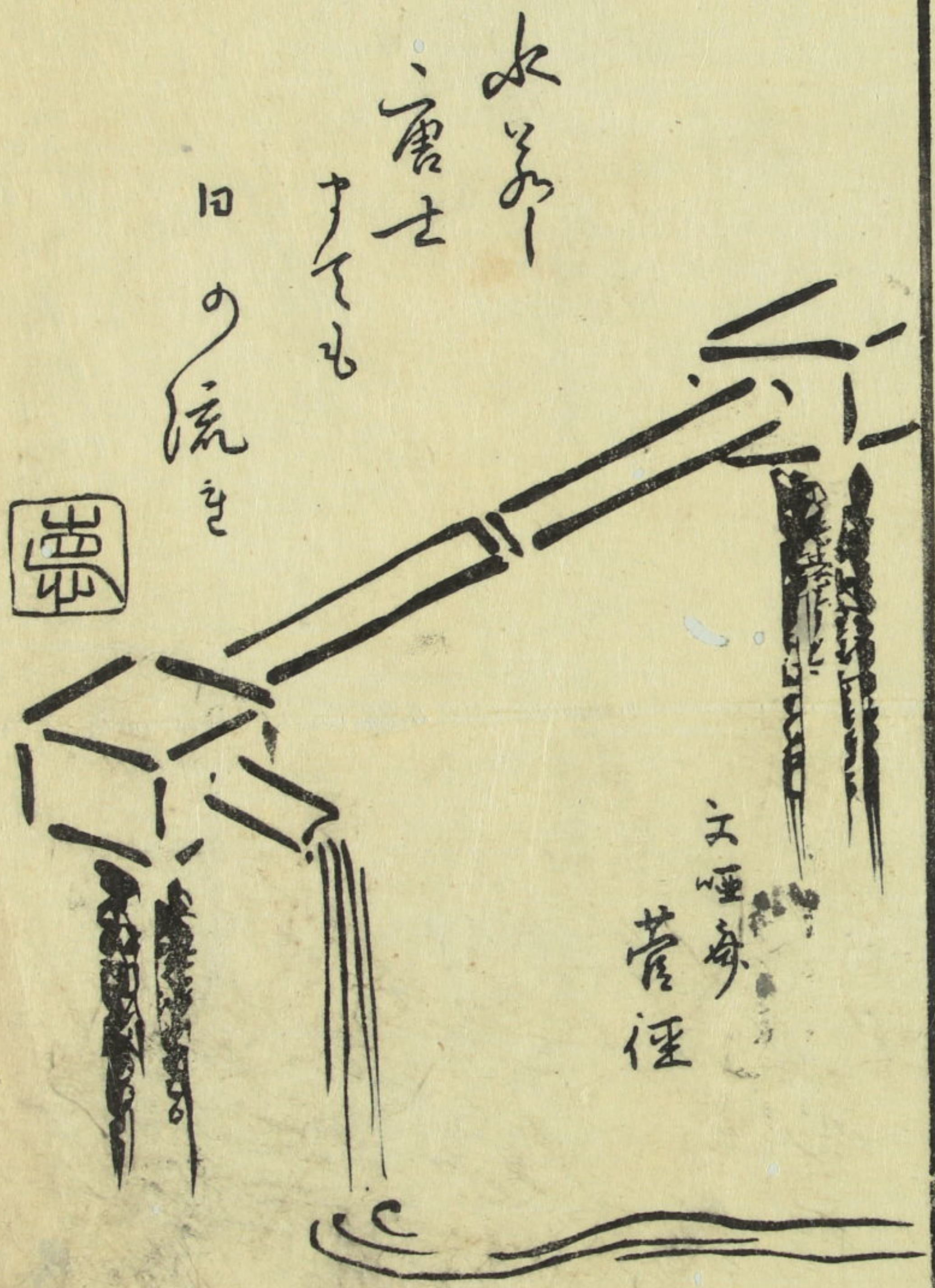
高

松

来

江戸

北山



水
管

唐土

すきも

日の流き



文煙
管徑



白
耕

う
き
ま
ま

涼

涼
ま
ま
の
涼

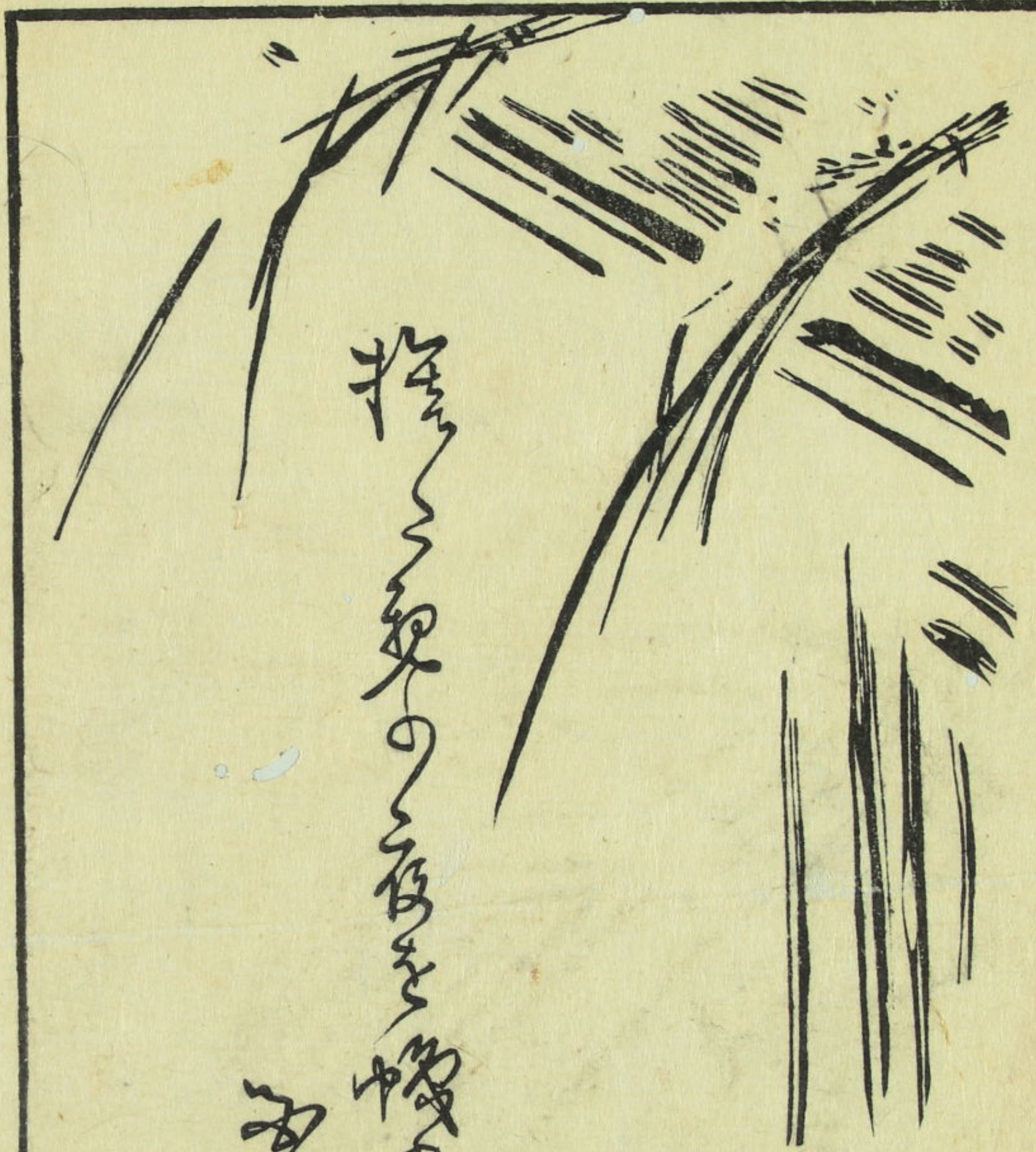
白
耕

白
耕

新 春の
傍々々
冷々々
銀河



鳥の尾

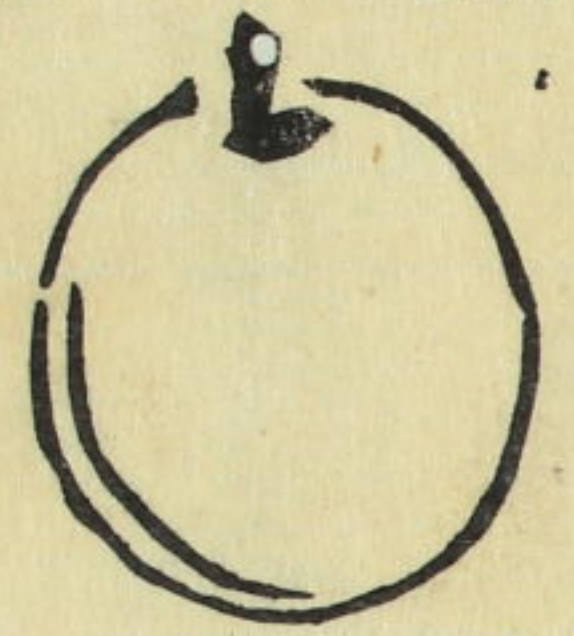


新 春の
傍々々
冷々々

鳥の尾

江 後

三十二



類月画

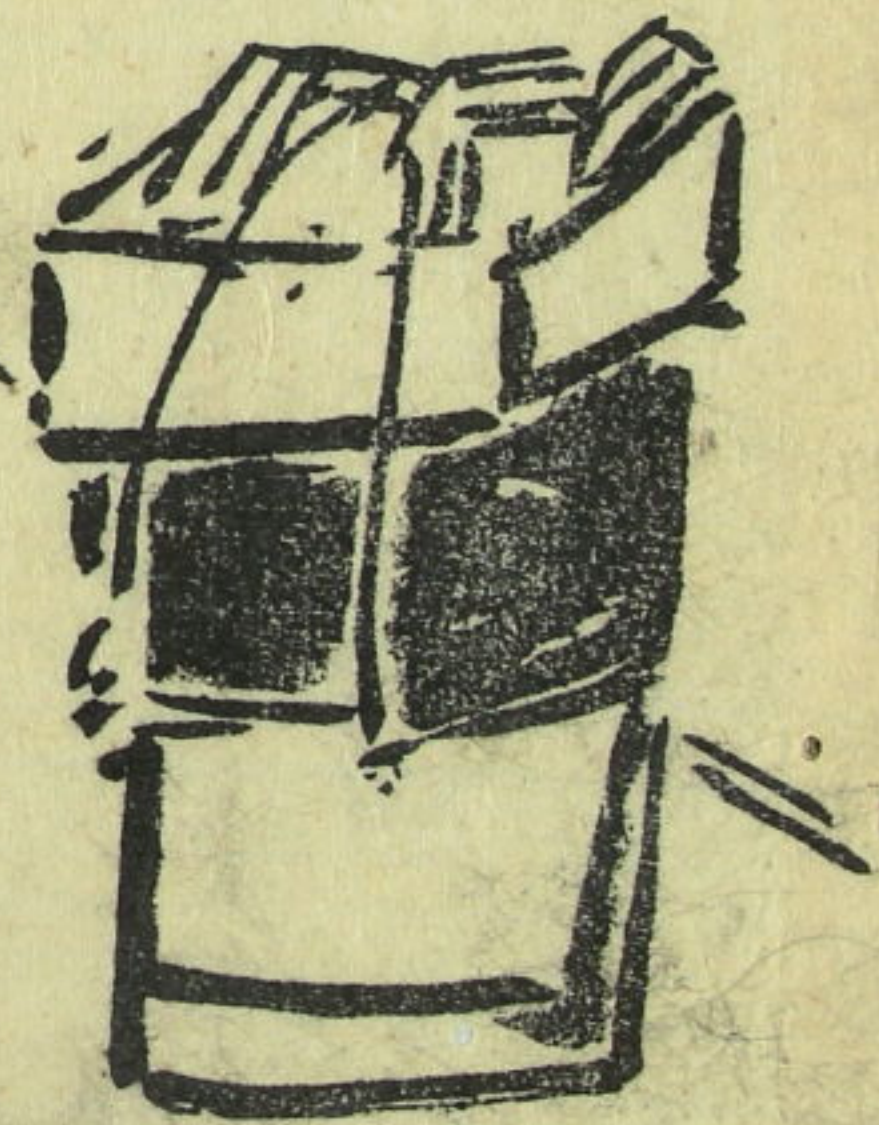
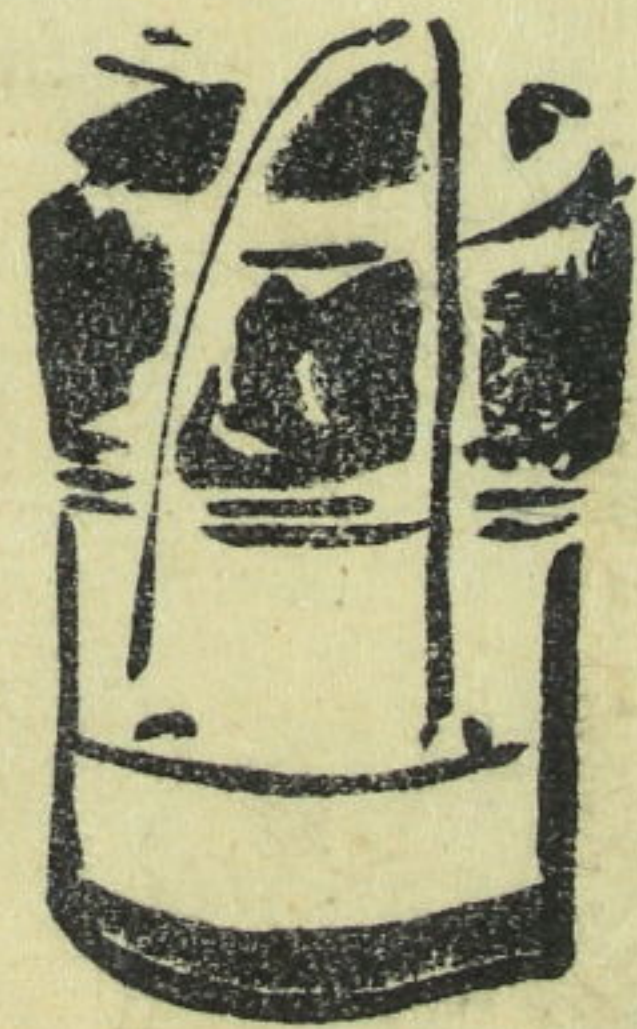
魯谷

りや
走石

溪澤

沼の

枯
草



右の牛也
 瘦小
 小僧也
 齋也



應律

正月の
 儀式と
 稚
 格心
 う如
 意律



三ノ二十六





十萬の
 新穀も
 原
 う
 む
 川

穂
 律



男の子うてを
 昔歌林うね

穂
 律

八箱の
 平や
 らく
 沖の波
 應律

朝
 や
 は
 痛
 も
 た
 かつ
 物

應律



季東

堅可也と

山を

祝

夕可也



東吳

種石

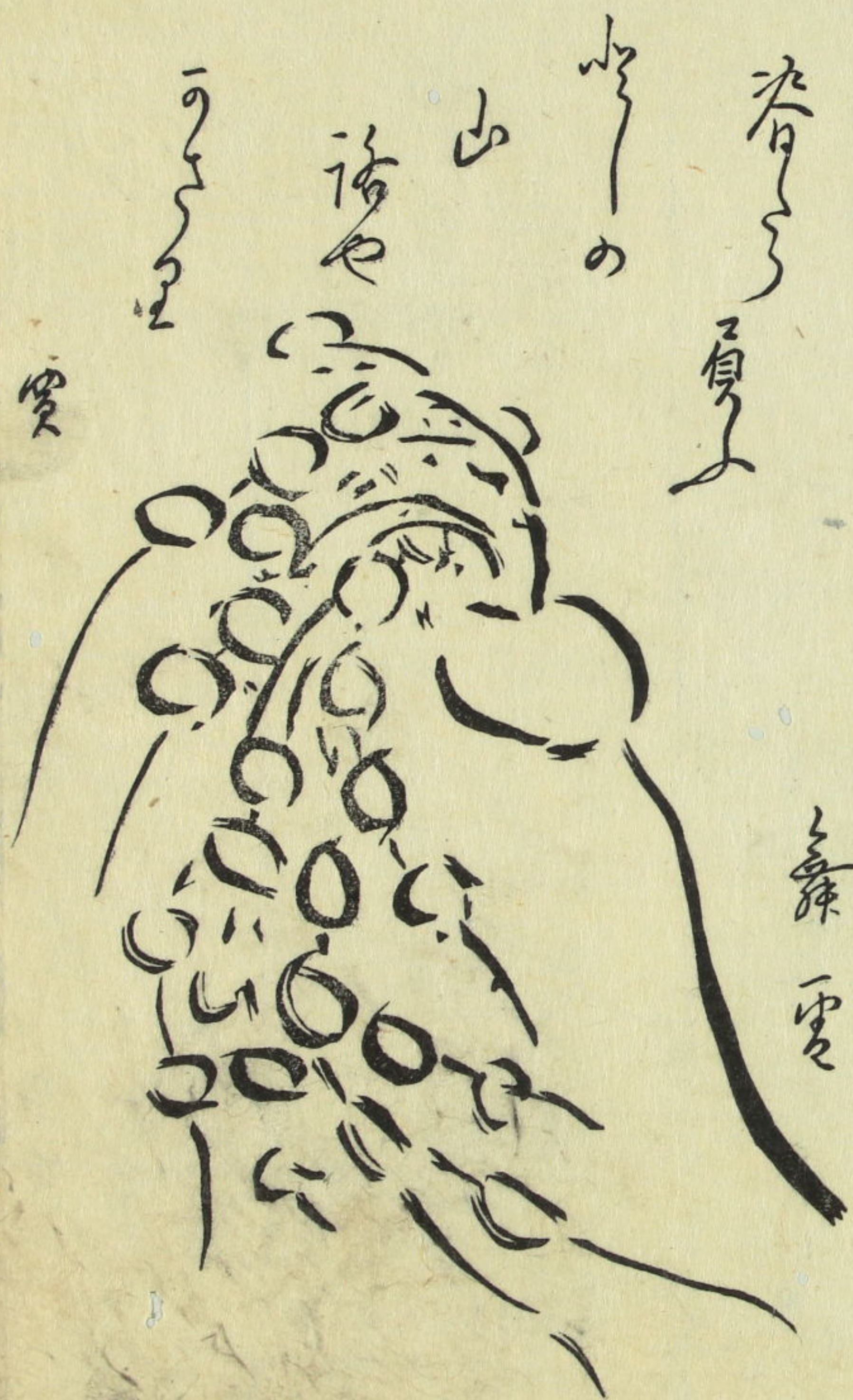
惜む

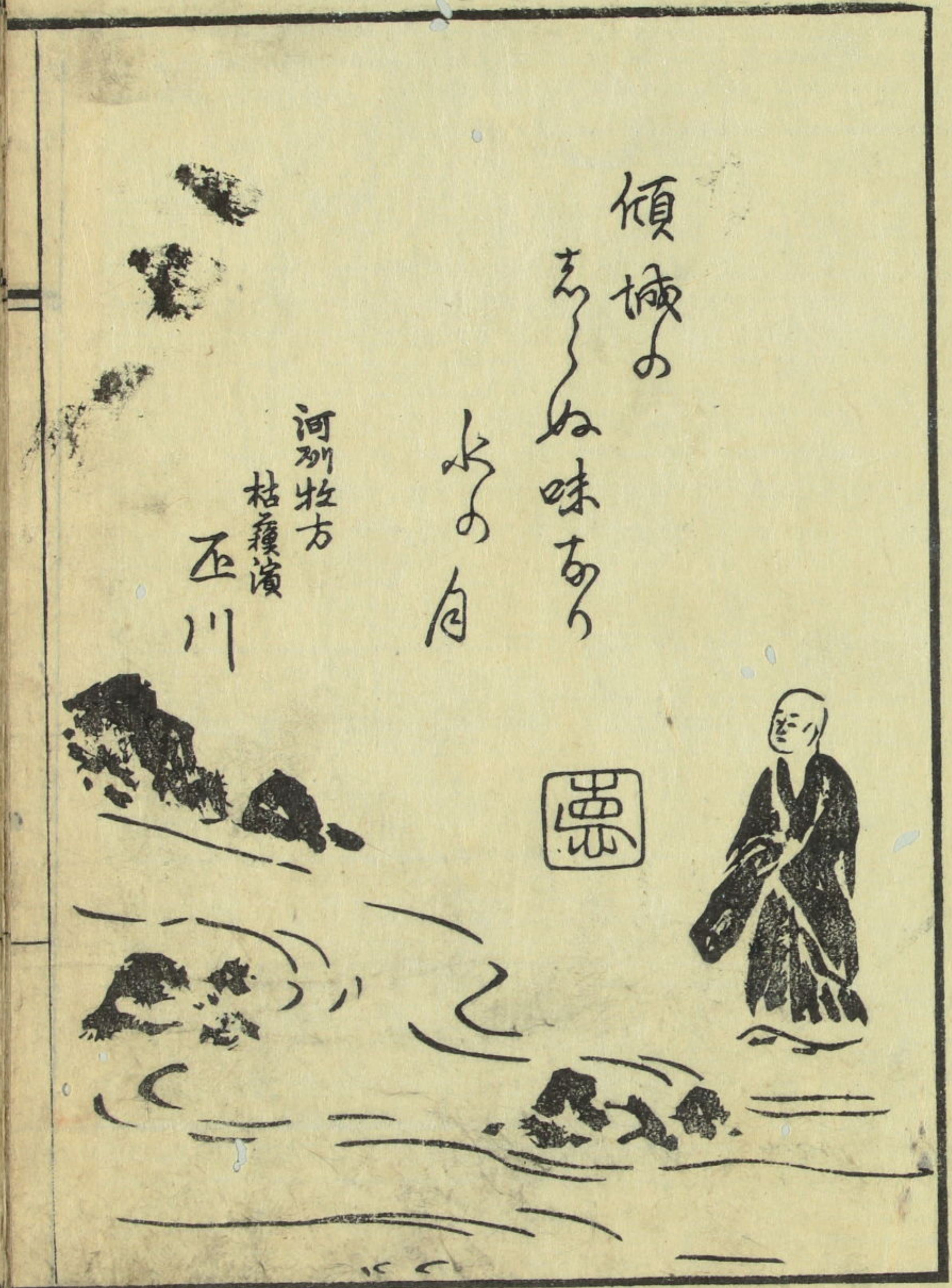
志り

何く

弟一り

三ノ三十





傾城の

ま〜ぬ味あり

水の白

印

河別牧方
枯蘆濱

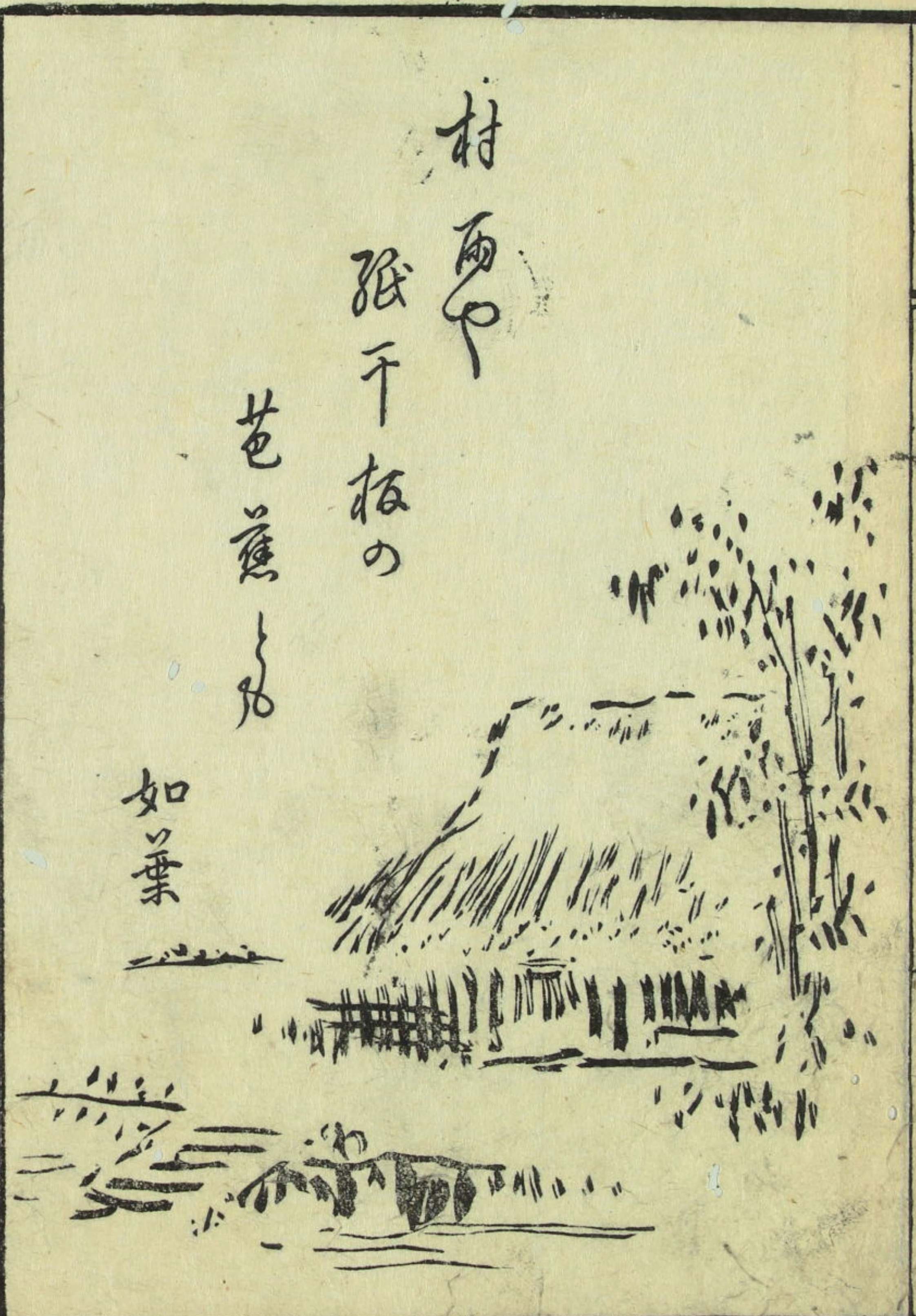
正川

村

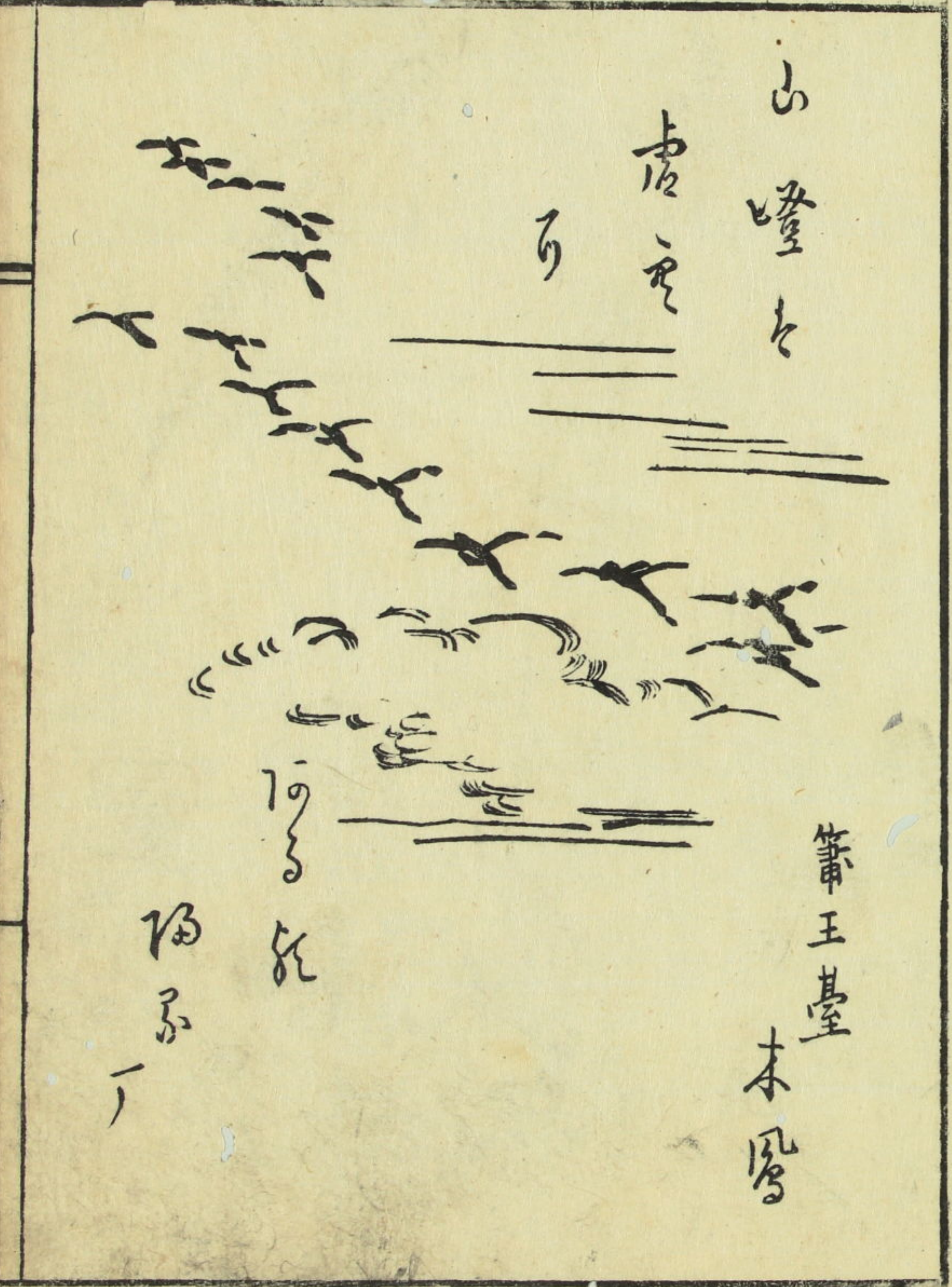
紙千板の

芭蕉も

如葉



三ノ三十二



山 嶺

道

道

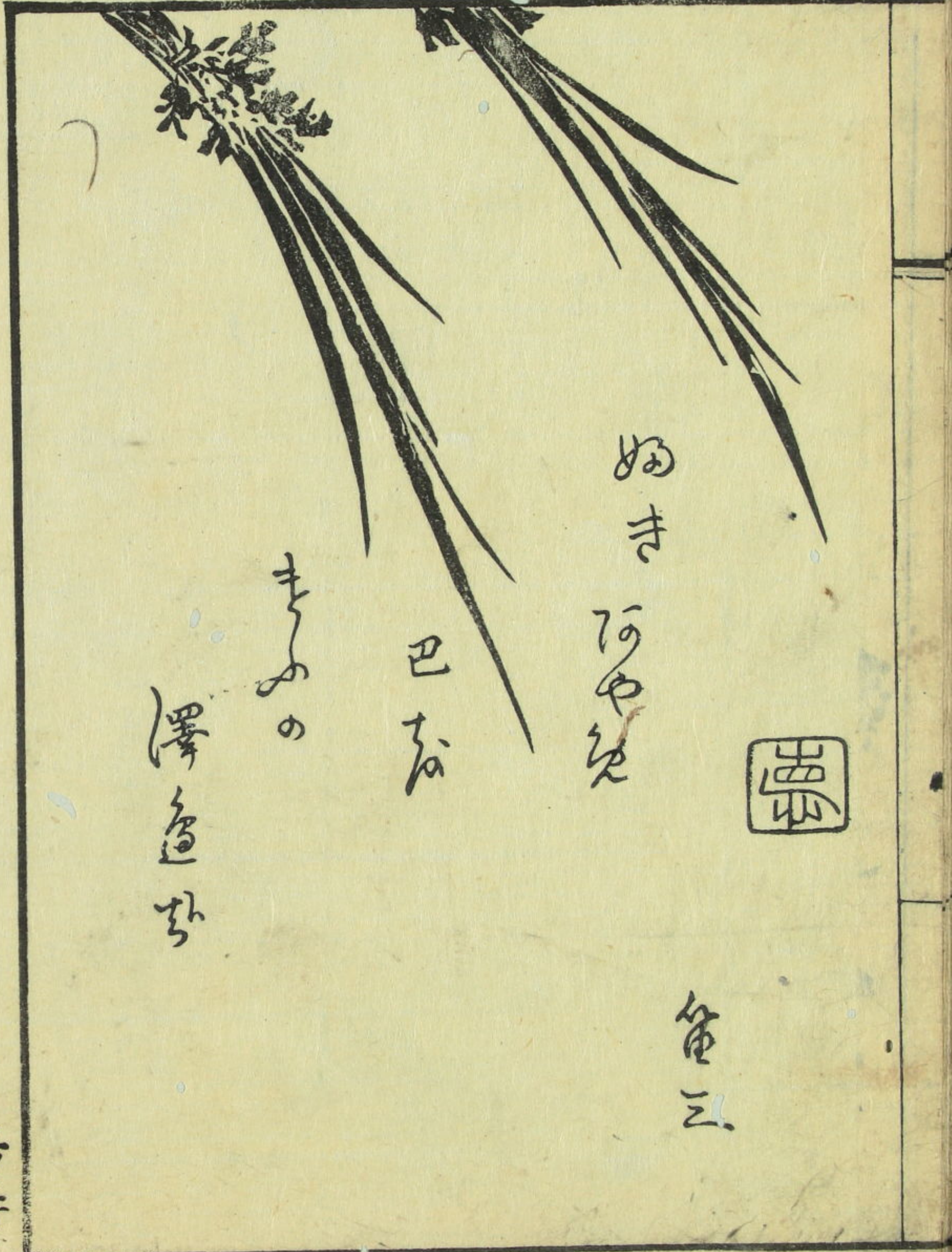
第一層

第二層

第三層

丁

丁



好 草

巴 草

ま 草

澤 草

澤 草



三ノ三十三

三ノ三十三



餘る夜の

髪を伝ふ

舟のそら

分



そ
衣

脱

弊の

念見

外

寄
風

子宝や
 舞免る
 来舟
 舟
 舟



何の
 若る
 浪連る
 舟

有堂



折北
 端
 倒
 古
 琴
 柳



清
 顔
 顔
 右
 刀
 角



右
 角



海原の
 雀と
 松よ
 の
 子
 うれ

鳥角



暗くして
 船やかいらん

殿はより

歸厚

三三十七



神

あ

ら

ら

ひうせい

塩布

三三八



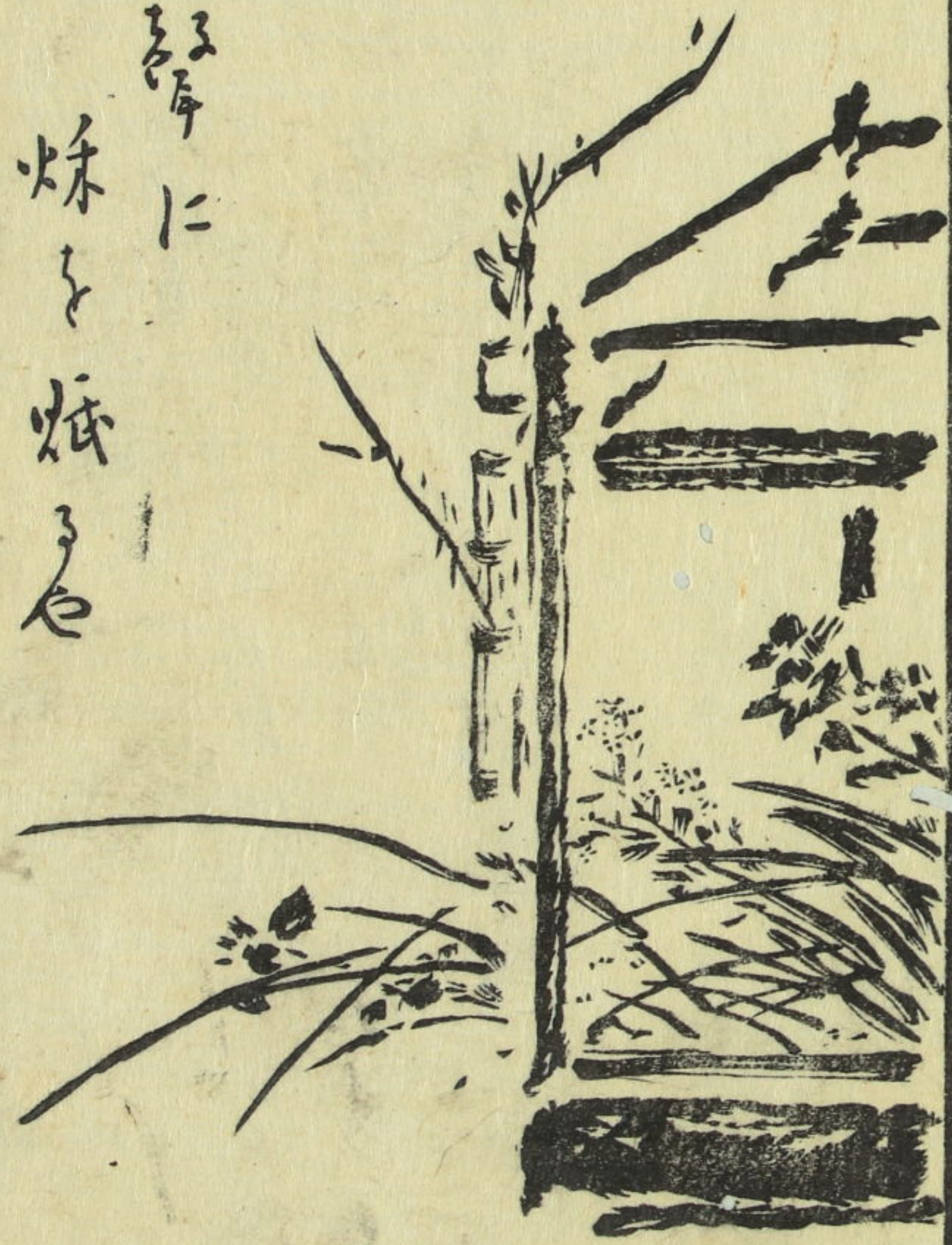
志のうぎ新

魚

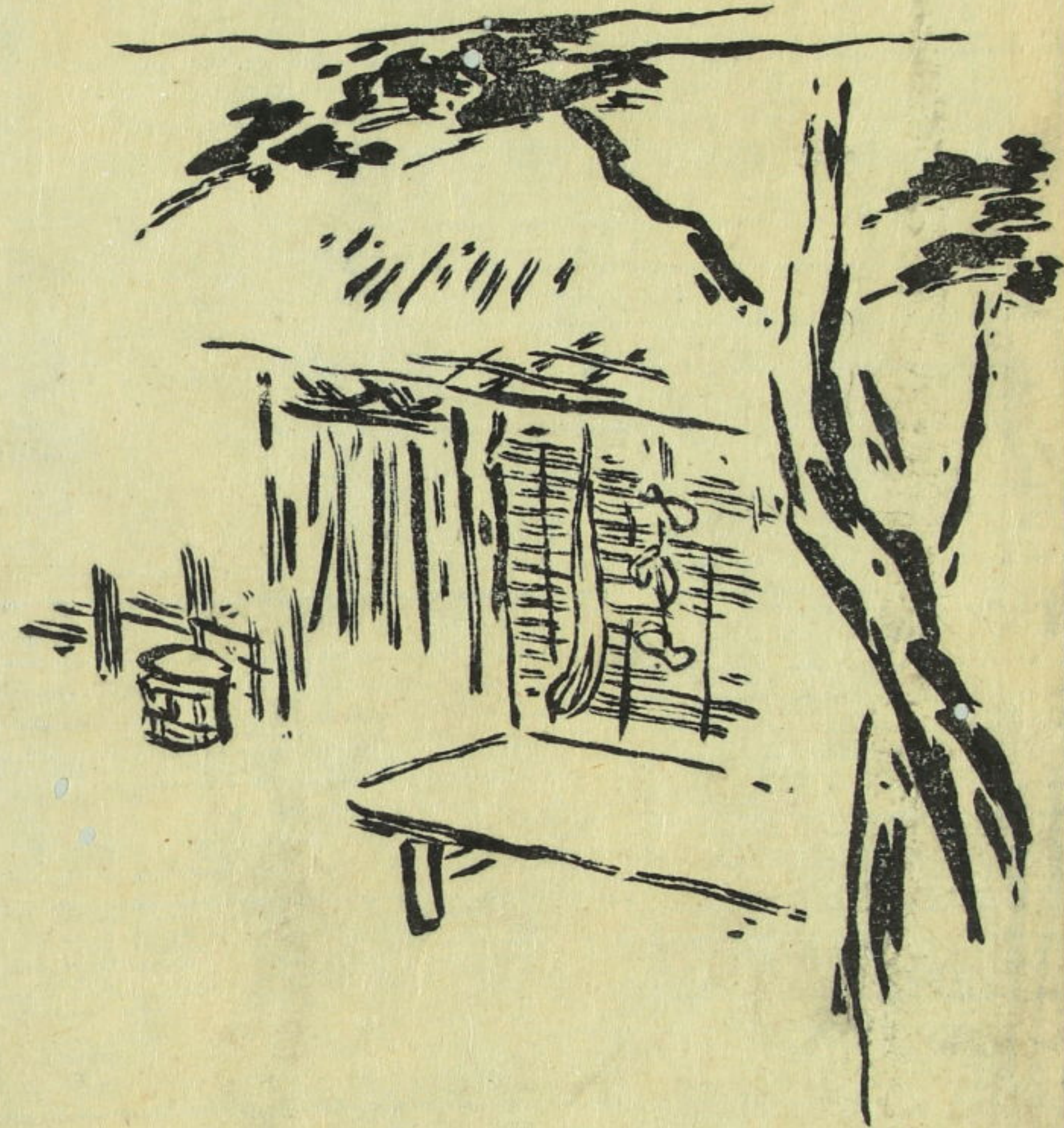
標

舞中

春
 子
 年
 仁
 煉
 と
 紙
 と
 色
 市
 の
 道
 文



古
 跡
 小
 乾
 く
 文
 と
 色
 と
 紙
 と
 煉
 と
 色



上田更爲





牡まら魚の

輪

品

何れ

を

月夜

の如

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十



福妻

善え

咲

お

し

左

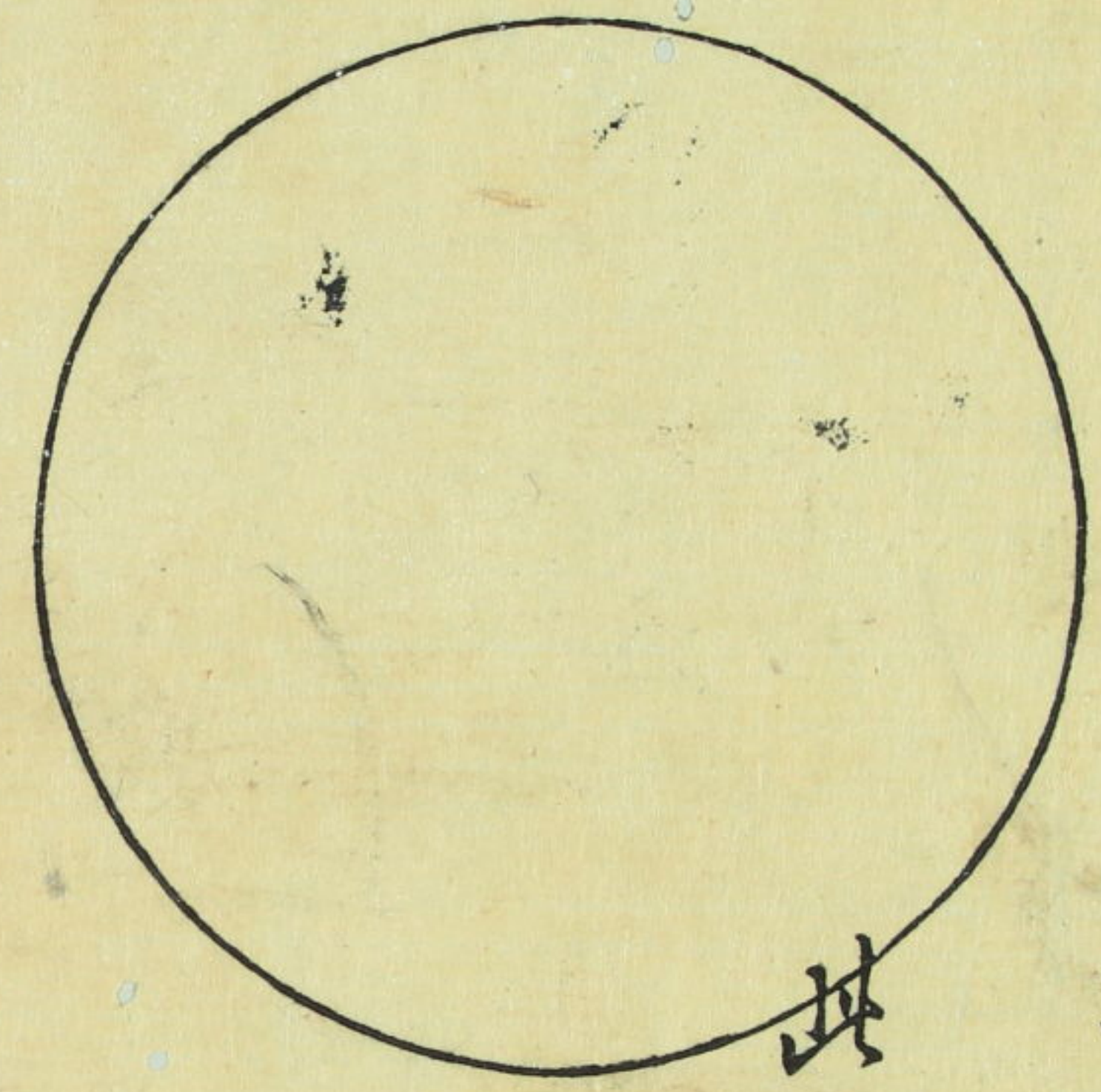
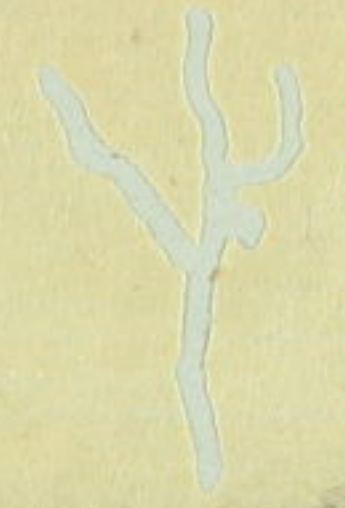
三四十



浮
上
八
艘

文
量

舟
人



白
き
石
の
先
も
好

畫
の
先
も
好

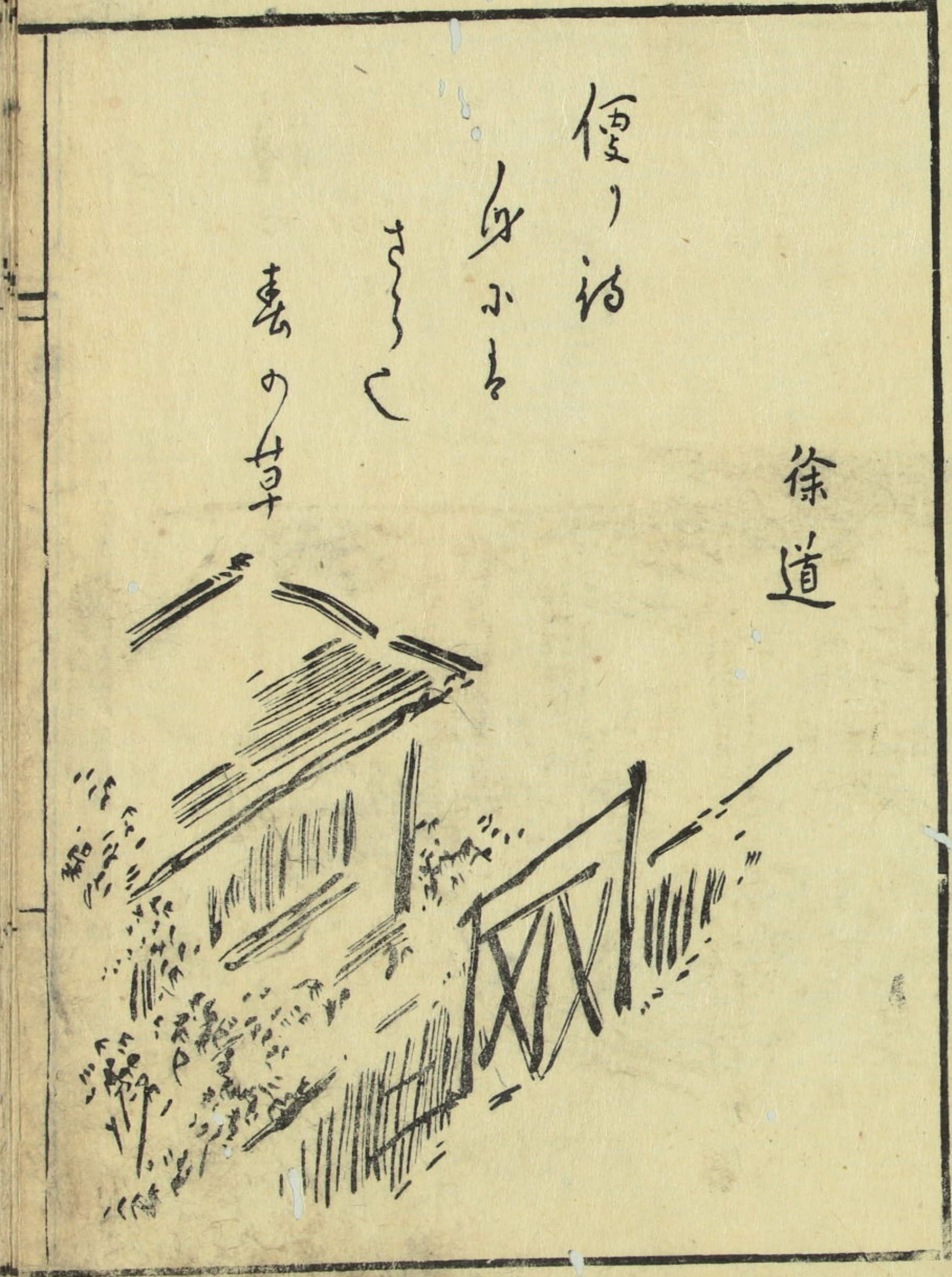
此
の
先
も
好

入
る
も
好

百
千
鳥

牛
風
籠

杉
丸



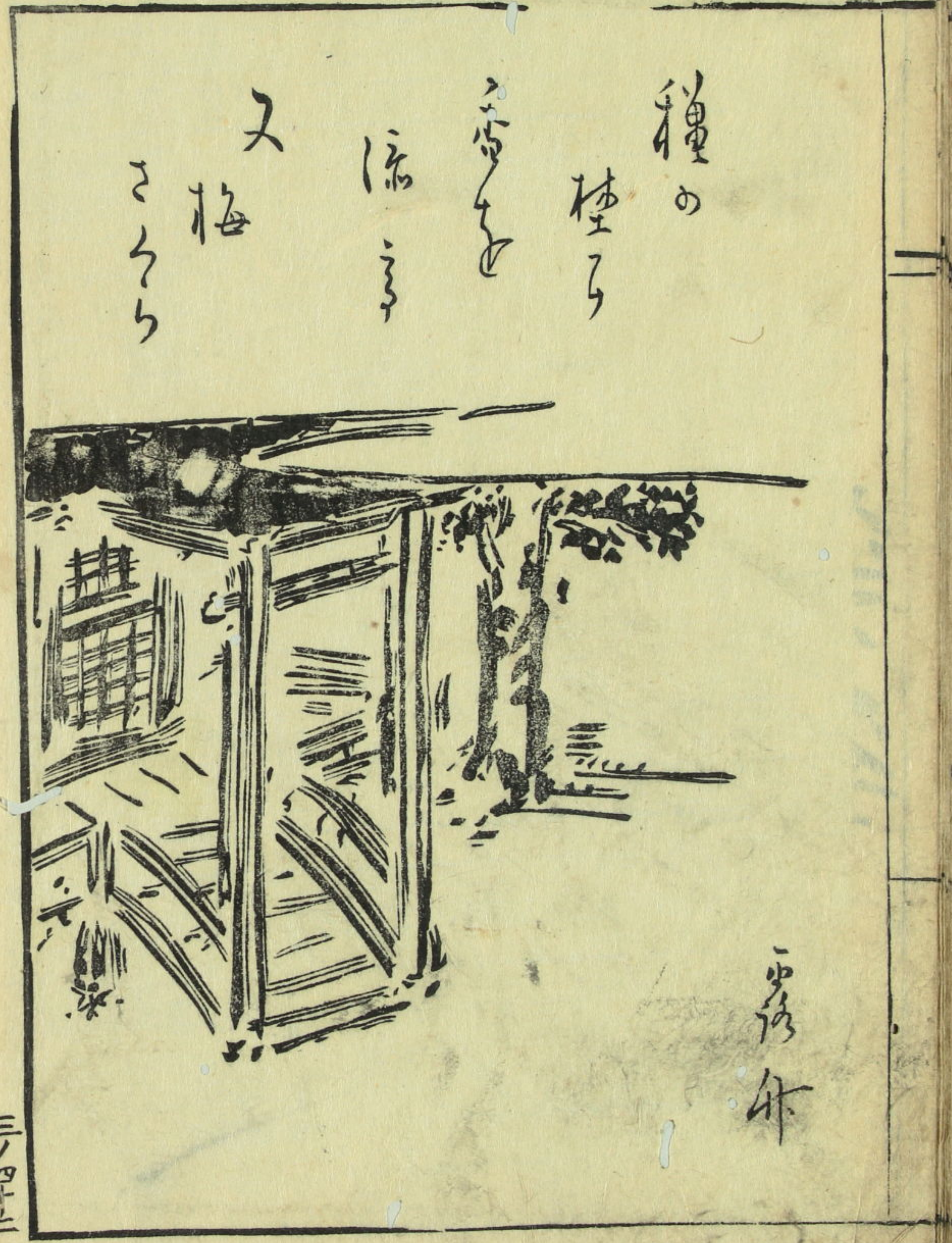
徐道

優り詩

身ふと

さし

春の草



種

榎

入

流

又

梅

さくら

二
三
四
五

三
四
五



客僧
少
福
峯此
色

喜多川
星行



鳥
の
枝
の
蛙
対

阮水

三ノ四十三

禪僧の
 道をためけや
 花の春

可後



三十四



蓮の咲
 花の
 信玄の
 花の

河井桂風



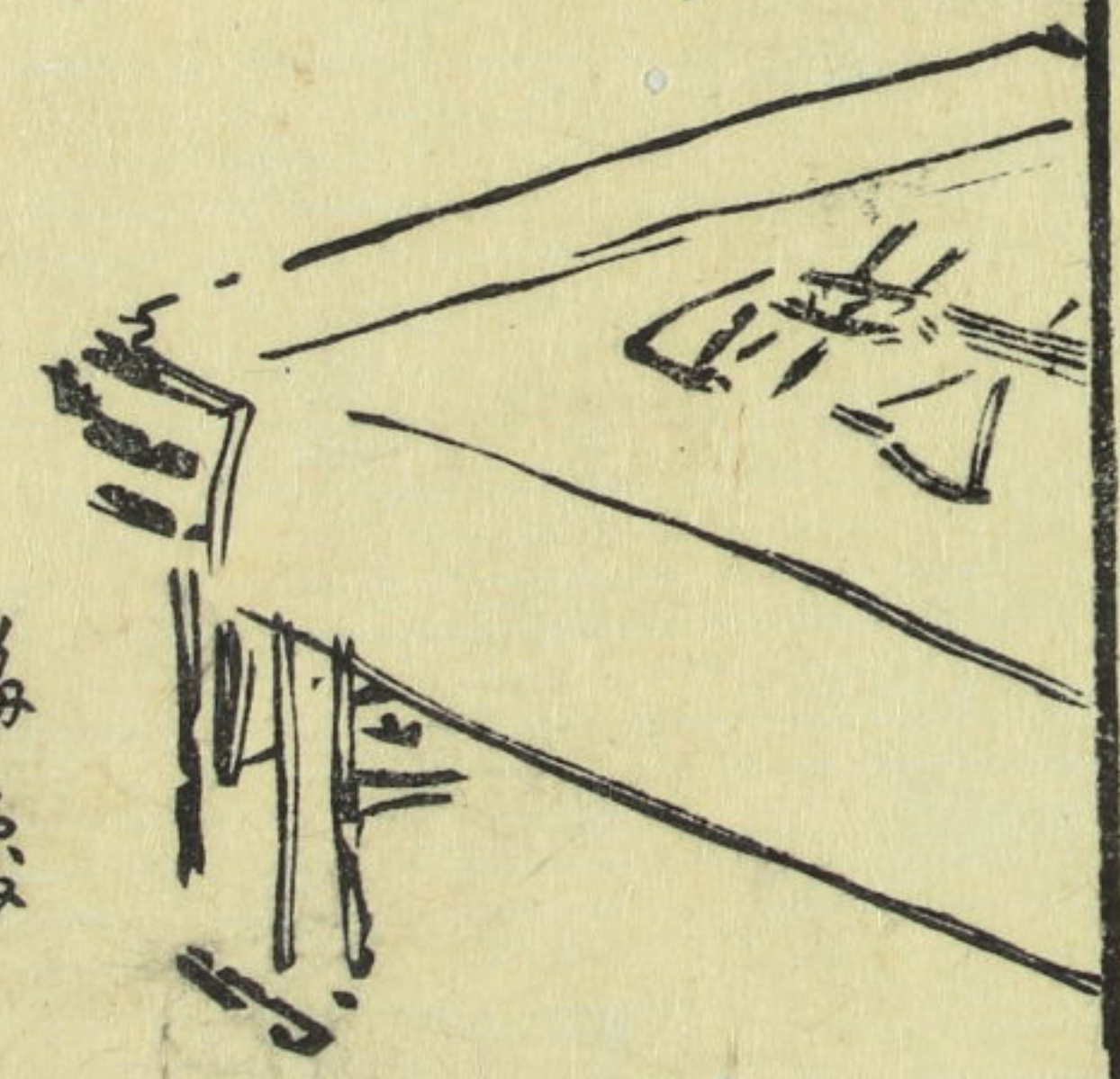
同字相

りくく丸き

踊子

梅處

棋北



一調子

上流

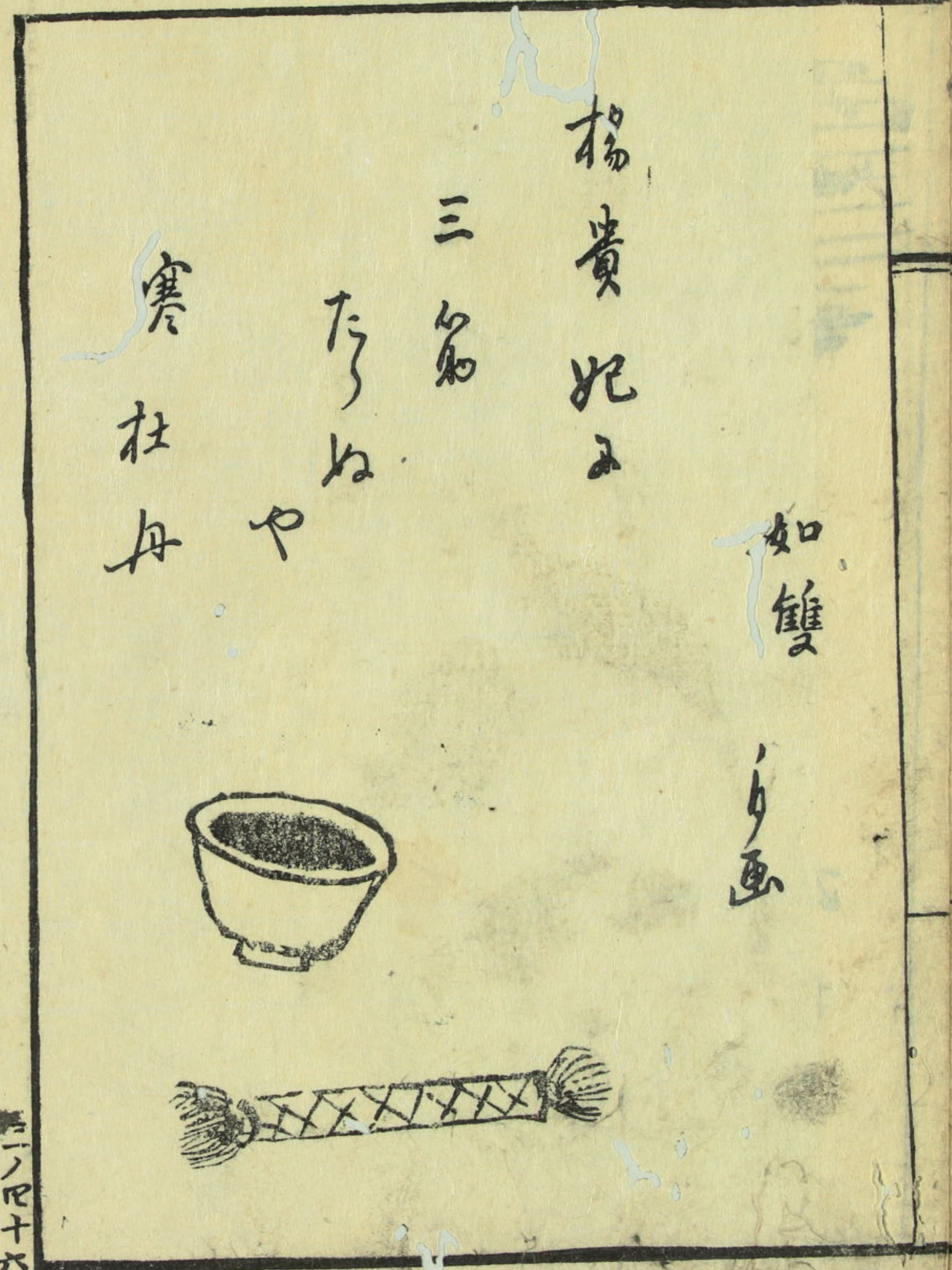
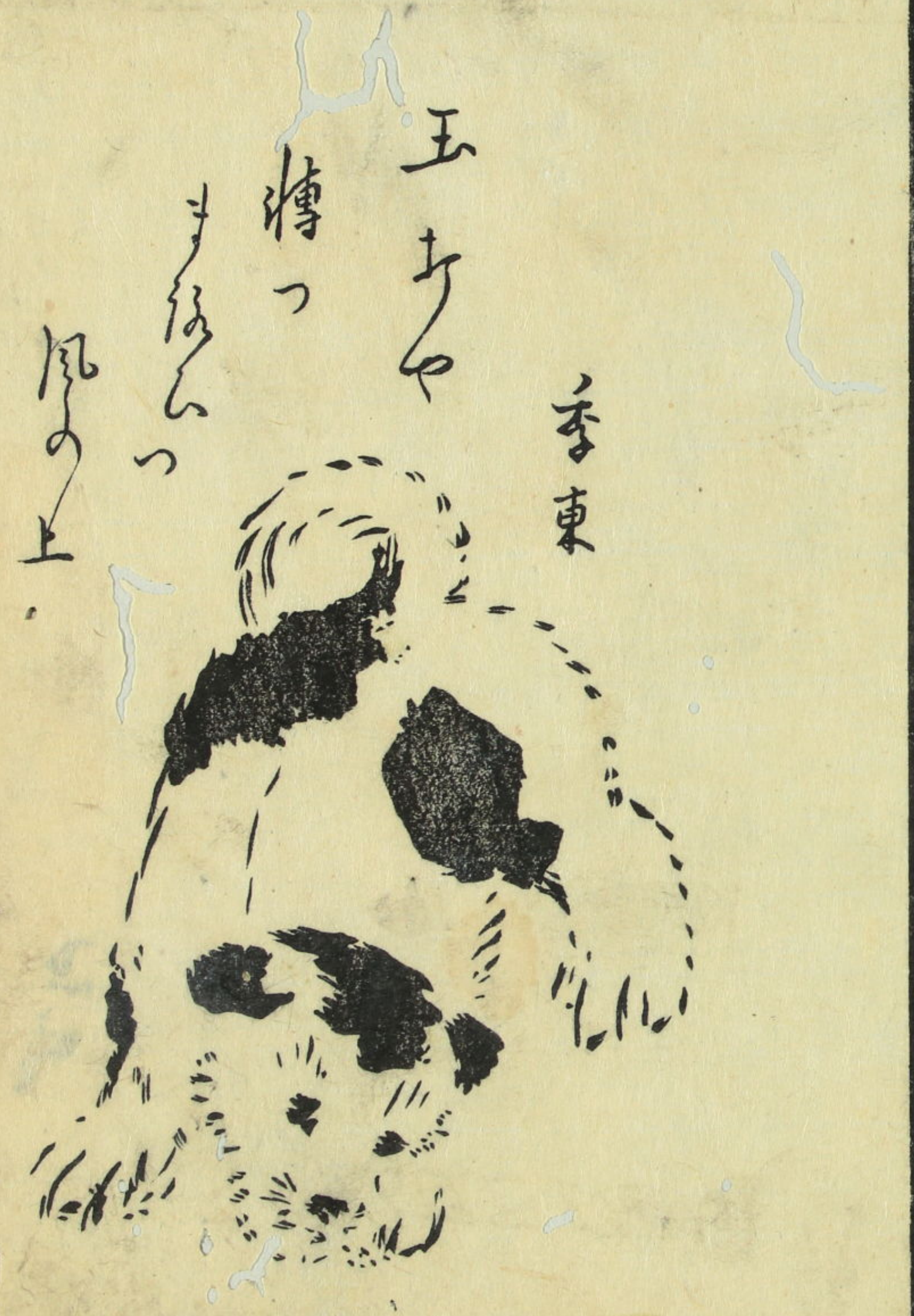
蟬も

何の

と

一文字

此溪





梅咲や

火繩の

廻り

石州山人
宗里



新島の

畫

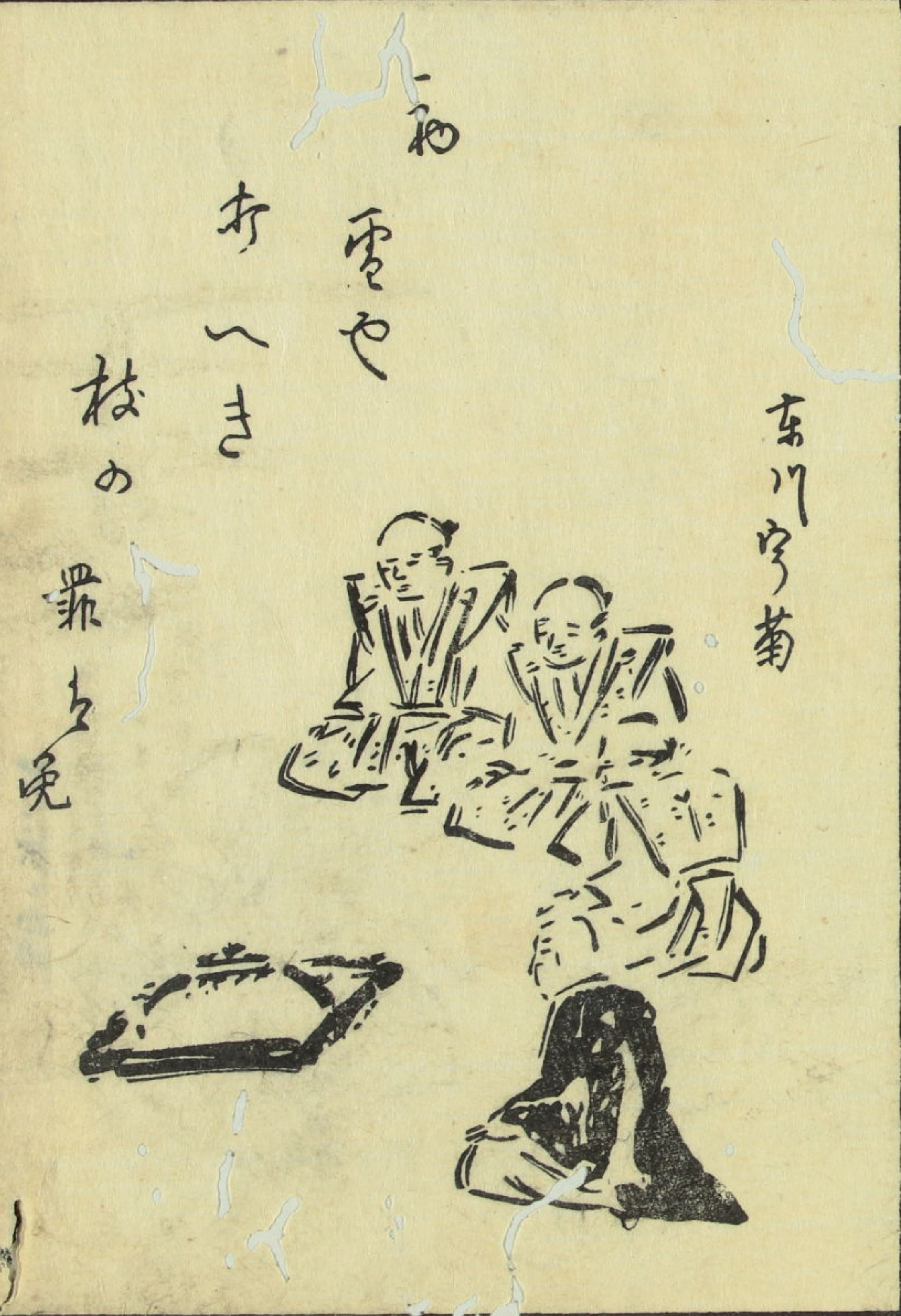
懐

懐

4
集

北
魚

三ノ
七





月夜の舟

三朝 馬泉

朝の舟

まの舟

舟の

舟の

春



風や

非矢

返りは

只の松

舟の

三ノヤ十九



張吾

連々

々々

々々

張吾



冬山筆

免

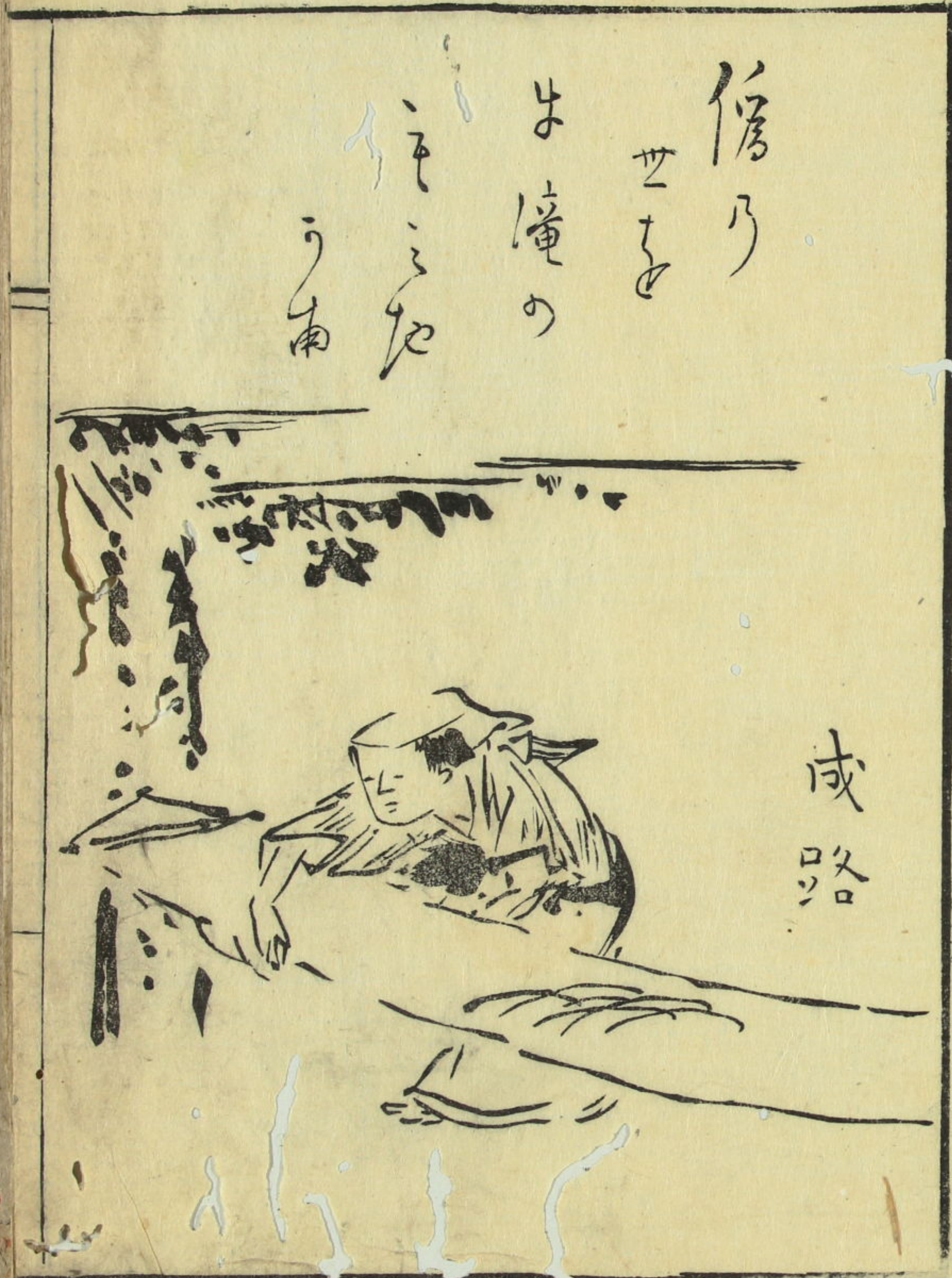
月

人

川

水

三五



傍り

サト

牛滝の

う南

成路



水

舟の位をう

ま

青馬

雨の日は
梅と
梅うね



杜
梨
舎

梅の香也
さき
ゆめ
花の友



沼
橋
の
舎

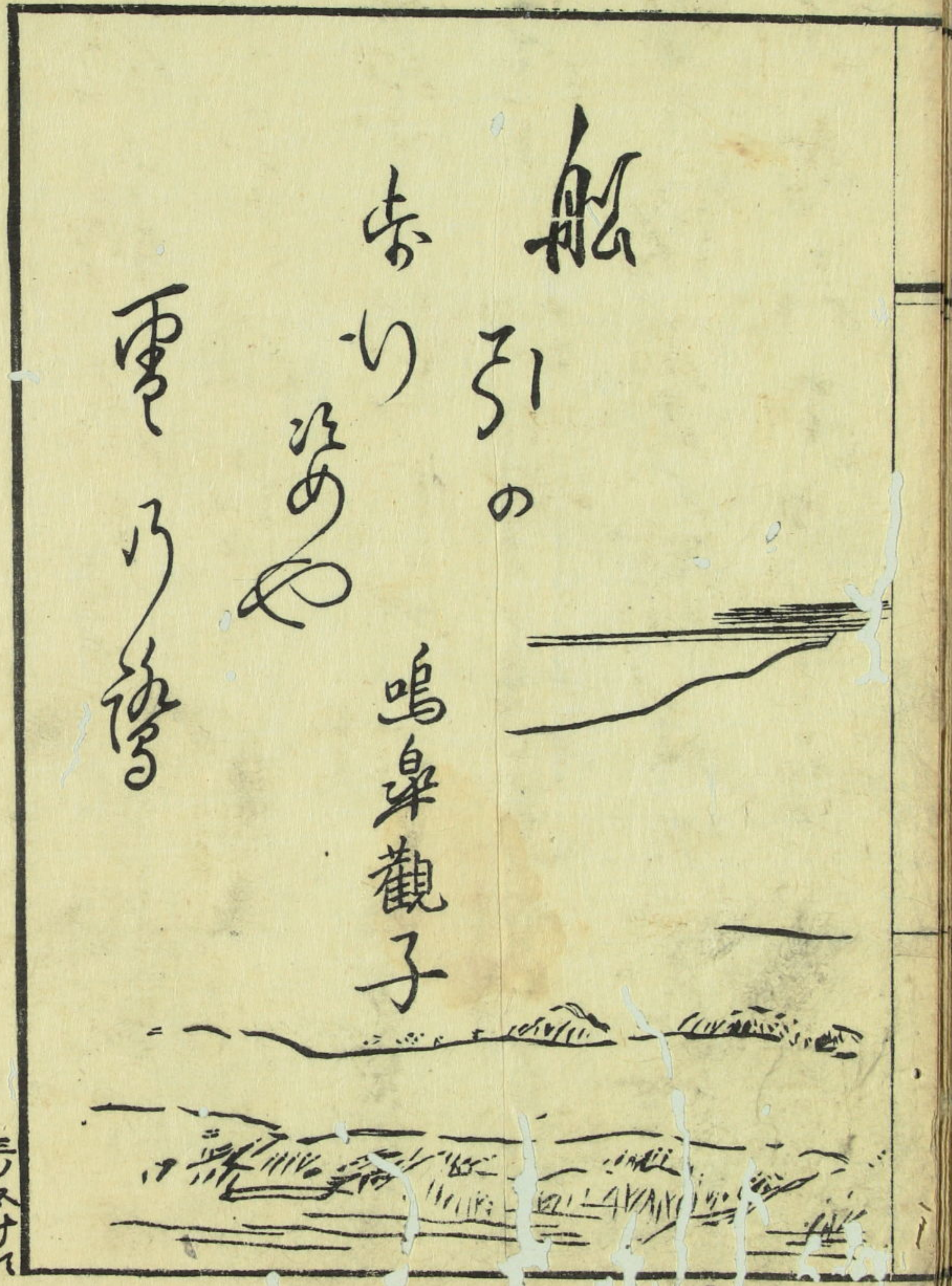


神の
の
の
の
の
の
の
の
の
の

八三ノ五十三

海谷

花柳斎を以て桂坊と申
 上りて桂坊と申すは
 原より好んで風流を
 好く申すは海ありて
 年俤を久しき及花柳部
 あかみふとくしき人



白を乞して一画襍集之冊
或博覧古今の事記して
科戸樹也いふは此の字毎
に添うてそのまゝに
をもつたてゝ名とする
之のふりて一集毎にたりて

一

此系にまじりて
其志をいふに
とありて
作して
よも
か

あまがき

つら



五ふふ

しんげん 暦百九年 雲降月念日

あまがき

つら

あまがき



あまがき

大坂内本町松屋町西六
市田 治兵衛

